




建築の面白さを、教えます。



「歴史建築 × 現代建築」を体感できる「まち」石川。
アーキテクチャーツーリズムをはじめよう。

発行/公益社団法人石川県観光連盟
石川県金沢市鞍月1丁目1番地 076-201-8110

 平成24年度 文化庁文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

江戸時代、国内の大工集団を支配したのは「建仁寺流」と「四天王寺流」。この二大流派をそろうて抱えたのは加賀藩と徳川幕府だけだと言われる。加賀藩は百二十万石の経済力を背景にして、京都から選りすぐりの文化と技術を流入させるとともに、様々な建造物の大スポンサーとなっていた。特筆すべきは3代藩主利常の治世。側室の子供であり、生粋のエリートとは言えぬ生い立ちだからこそ、利常は富を庶民へと還元したのではないかと思えるほどに、歴代藩主の中で傑出した業績を残している。那谷寺、妙成寺、小松天満宮、気多大社など石川県内の有名な寺社建築は利常の発願によって建築されている。利常にとって幸運だったのは二人の天才建築家が同じ時代に生きていたこと。その名は山上善右衛門。

Ishikawa Architecture Tourism

石川、その歴史建築の 凄みと愉しみ方

この時代の寺社建築のほとんどは、彼の作品なのである。利常が投じた富の行方は、決して失われることなく、時代を越えて人々の心を癒し支え続けている。

妙成寺は境内入口から二王門、五重塔が直線に並び、台地を持つカタチを生かし、石段を通じて最高所の五重塔まで天に向かって歩み、歩近づいていく。その配置と世界観の創り方は驚嘆の一言。自然景観と建造物とが見事に融合する那谷寺は、建築美というよりも景観美と表現するに相応しい。空間の持つ魅力を存分に生かしている。発想力は、実に楽しい。

石川の歴史建築の醍醐味は、江戸時代建築を体感すること。百万石都市に育まれた名建築家たちの「脳力」に、時代を越えて潜り込むことにある。

●建築家谷重義行の愉しみ方

「わたしが好きなのは歴史建築の二つが能登にある永光寺です。静謐な庭を通ると長い石段が目前に現れ、その先に山門が待む。山門をくぐると永光寺式と称される伽藍建築が目の中に収まる。決して壮大ではなくコンパクトとも言える造りですが、逆にその空気感がとても好きです。わたしが良い建築だなー、と共感するのは全体の景観であり、その場を楽しむストーリーなんです。その意味で永光寺は山のサイズから周辺の田園風景までを含めて、わたしにはとても魅力的に映ります。そうそう、付け加えるなら、永光寺が広く観光地として有名な場所だけでなくとても新鮮であること。にもかかわらず、寺内には山岡鉄舟の見事な襖書をはじめ見応えたっぷりの美術品が鑑賞できる。話を聴けば曹洞宗の由緒も深く厚みがある。そんな意外性も面白いところかな。石川の歴史建築には、こうした意外な出会いが度々あるんですね。」

●金沢工業大学教授中森勉の愉しみ方

「石川の歴史建築で好きなものといわれると、わたしは奥能登の大本山總持寺祖院ですね。壮大な山門と独特の空気感。奥能登という場所にあれだけのスケール感たっぷりの建造物が今もあることが感慨深いですね。總持寺祖院は、その圧倒的な存在感もそうですが、わたしを惹きつける大きな理由は田鶴浜の名工と言われた大工棟梁柴田眞次という人の存在です。結構、人を詳細に追うのが好きなんです。總持寺祖院では太祖堂と山門を手がけ「鶴見（神奈川県横浜市）」の總持寺でも紫雲台が彼の作品です。總持寺祖院には柴田眞次が手がけた山門の絵図面が木版で残っているなど、いつまでもじっと見入ってしまう貴重な資料が遺されています。石川には柴田眞次の他にも、江戸時代の名工とされる山上善右衛門の作品もあり、人々を巡る建築旅も魅力的です。」

「那谷寺、妙成寺、小松天満宮、気多大社などですね。」

「永光寺など知られていない名建築との出会いも楽しい。」

建築家
谷重義行



谷重義行
●プロフィール
1958年広島県生まれ。
1996年建築風景研究室設立。
石川県建築家事務所協会会員。
NPO法人茅葺き文化研究会専務理事。
2003年より金沢美術工芸大学非常勤講師など。



金沢工業大学教授
中森 勉



中森 勉
●プロフィール
金沢工業大学 環境・建築学部教授
専門分野は日本近代建築史、建築技術史。



「歴史的には利常の時代に注目。」

「柴田眞次や山上善右衛門など、人々でめぐると面白い。」

「現代建築は人でめぐると面白い。」

「シリーズもアリ。池原義郎シリーズとか、内井昭蔵シリーズとか。」

建築家
松島 健



松島 健
●プロフィール
1955年石川県生まれ。
1987年松島健建築設計事務所設立。
石川県建築士会会員。
2001年より金沢工業大学非常勤講師。



建築家
漆崎義和



漆崎義和
●プロフィール
1971年福井県生まれ。
1996年金沢計画研究所。
日本建築家協会会員。
2013年4月より金沢計画研究所所長。



有名建築家作品が ゾクゾク現る、石川のまち

Ishikawa Architecture Tourism

谷口吉郎さんと吉生さん親子。

谷口吉郎さんは宮内庁の仕事に数多く携わったこともあってか、実に雅で繊細で、線の美しさを建築に取り込む。現代建築が登場し始めた金沢の中核的ビルの多くが、谷口吉郎さんの作品である。そして息子の谷口吉生さんは美術館づくりの名手。一切無駄のない、シンプルな線と面だけで、感嘆の声が思わず漏れる美しい空間を創りだす。鈴木大拙館、片山津温泉街湯と立て続けに最新作が石川に誕生したのは嬉しい限りだ。

そして何と言っても石川に建築都市としての魅力を再興したのがSANA A。金沢21世紀美術館の設計者である。透明と白の柔和なビジュアル、常識を超えた発想力は石川の地でもいかななく発揮されている。現代美術館と人との距離感を新たな次元へと導いた建物は、石川の旅のカタチも大きく変えはじめた。

●建築家漆崎義和に学ぶ現代建築めぐり

「僕も人で巡る建築の旅は面白いと思います。ちなみに好きな現代建築の一つが磯崎新さんの雪の科学館。磯崎氏の作る建築は、コンセプトや形態、色や仕上げにおける多彩な発想は、いつも我々の興味の対象となっています。」

建築を人々で楽しむという一方で、僕は建築を通じてその街を好きになって、また新しい好奇心との出会いがある、というのが好きなんです。たとえば雪の科学館を目指して行ったら、柴山湯を隔てた向かいに谷口吉生さんの片山津温泉 街湯があつて、そのまま自然に温泉街をめぐる。あるいは内藤廣さんの建築作品が山代温泉街に2つもあるからじっくり腰を落ち着けてまち歩きもしようとか、そんな街との出会いさえも建築旅の醍醐味だと思います。」

「石川は安藤忠雄さん、磯崎新さん、谷口吉生さん、SANA Aなどの名作に出会える。」

「建築をキッカケにして街を攻略するのも良い。」

金沢
KANAZAWA
P5-12

「時代を極めた、歴史建築と現代建築の競演」
金沢城 × 金沢 21 世紀美術館
モデルルート 金沢ベシック編 P5-8
金沢ディープ編 P9-12

能登
NOTO
P13-16

「絶景の海に寄り添う、優しき空間に憩う」
妙成寺 × 石川県七尾美術館
モデルルート 口能登編 P13-14
奥能登編 P15-16

加賀・白山
KAGA HAKUSAN
P17-20

「白山に抱かれ、白山と対峙する名建築たち」
那谷寺 × 中谷宇吉郎 雪の科学館
モデルルート 加賀編 P17-18
白山編 P19-20

「歴史建築×現代建築」を体感できる「まち」石川

石川の建築をめぐるコンセプト。

禅
ZEN
P21-22

「あるがまま、禅の歴史を紐解く旅」
大本山總持寺祖院 × 鈴木大拙館
モデルルート 禅 P21-22

茶
CHA
P23-24

「美に浸り、静寂の茶をめぐる」
兼六園 時雨亭 × 江沼神社 長流亭
モデルルート 茶 P23-24

藝
GEI
P25-28

「百万石文化の凄み、その技を宿す世界へ」
ひがし茶屋街 × 九谷焼窯跡展示館
× 石川県能登島ガラス美術館
モデルルート 文学芸能 (金沢) P25-26
工芸 (加賀) P27
芸術 (能登) P28

CONCEPT of Ishikawa Architecture Tourism

茶の湯と禅と建築文化の

「なるほど」な関係

Ishikawa Architecture Tourism

ねて江戸時代になると、京都で熟成された建築文化とその技術が、茶の湯の文化とともに、加賀藩へと流れこんできた。その主役は、加賀3代藩主 前田利常と徳川将軍家の茶道指南役であり作事奉行としても活躍した小堀遠州。利常は、小堀遠州を文化顧問として加賀藩に招き、芸術品の収集や茶の湯の指導、美術工芸の育成に力を入れた。小堀遠州については、兼六園、辰巳用水の設計に関与した可能性も指摘され、加賀市大聖寺にある長流亭では設計に関わったとされている。利常の周辺には遠州の他、金森宗和、本阿弥光悦、狩野探幽といった優れた文化人の存在があり、京都の洗練された文化が加賀藩へ急激に受け継がれると同時に、建築文化もまた、京都に劣らぬ作り手を育て、魅力を与えた茶室や寺社建築が生まれていった。

寺には前田家ゆかりの茶室があつて、前田利常が小堀遠州の指導を仰いで作つたとされる庭がオススメですね。禅ということでは、鈴木大拙館から四高記念館、その足で西田幾多郎哲学館までを巡ってみるのも面白いと思います。建築そのものは谷口吉生さんと安藤忠雄さんという巨匠2人の作品です。鈴木大拙と西田幾多郎という日本屈指の哲学者2人が実は同じ学校の同級生だったということでもない縁をたつぷりと感じながらはしごするのも石川の建築旅ならではの楽しみです。文化とはちがうと外れますが、実は私、神社をテーマに博士号を取得してまして、専門的な視点から奥能登の須須神社をオススメしたいんですけどね。参道も厳かな雰囲気を感じさせているんですが、奥の宮とされるところが御神体を持たない古くからある遙拝所で、山伏山との関係性が素晴らしいので、行ってみて欲しい場所です。」

建築を詳しく知る人ほど、茶の湯と禅の世界が建築に対して実に多くの影響を与えていると理解する。禅宗の導入が茶室文化の発展をもたらしたし、武家の住宅様式である書院造りに対抗する文化として、数寄屋造りが生まれる。そこには禅宗のあるがままの教えと、侘び寂びの世界を極めた千利休感性が宿る。禅と建築との関係をさらに言えば、禅僧が活発に往来し、中国の寺院建築様式が伝えられ、今に繋がるニッポンの建築文化のはじまりをもたらしたのが禅宗様と呼ばれる建築様式と解釈できる。これだけを見て、茶の湯をめぐる、あるいは禅の文化を辿る旅は、「建築を楽しむ旅」と自然にシンクロしてしまうのだ。茶の湯と禅に影響を受けながら、深化していくニッポンの建築文化のダイナミックな動きの中心地は、奈良であり京都であった。しかし時を重

●建築家 平口泰夫の愉しみ方
「江沼神社の長流亭へはじめて訪れた時に感じた衝撃は忘れられません。小堀遠州は築城や造園の人として捉えていたのが、こういう建築にも影響を与えたのかという発見と、パロディ建築など西欧の意匠が上手に使われていることに驚きを感じました。石川の文化を楽しむ建築旅で私がオススメしたいもう一つの建物が兼六園の夕顔亭です。これは私自身、仕事としてその修復にも携わっているんですが、古田織部好みの茶室というのが好きなんです。利休がほの暗い茶室を好んだのに対して、織部は八窓といわれる開放的な空間を好みましたが、夕顔亭にもその開放感が良く表現されています。」

「禅宗とニッポンの建築との関係も濃密なんです。」

「那谷寺にも前田家ゆかりのいい茶室がありますよ」

「前田利常と小堀遠州との繋がりが百万石文化に多大な影響を与えていますね。」

「茶室では織部好みの夕顔亭が好きですね。」

建築家
平口泰夫
×
熊澤英二
石川工業高等専門学校准教授

熊澤英二
●プロフィール
1967年愛知県生まれ。
1996年日本学術振興会特別研究員。1998年京都大学工学研究科にて博士号を取得。2002年米国Isamu Noguchi inc.特別研究員。2006年より石川工業高等専門学校建築学科准教授。

平口泰夫
●プロフィール
1948年石川県生まれ。
1979年現平口泰夫建築研究室設立。2009年よりJIA(日本建築家協会)北陸支部石川地域会代表幹事。

「金沢城」の建築を愉しむヒント

1583年、前田利家が金沢に入った直後から本格的な城づくりが始まりました。キリシタン大名として知られる高山右近を招き、築城の指導を仰いだと伝えられています。いまは本丸園地や広場となっている場所に、名城中の名城とされた本丸、二ノ丸、三ノ丸、東ノ丸、新丸の、それぞれの姿を想像しながらこの空間を楽しもう。



金沢工大教授
中森 勉の
視点に学ぶ



石川門、三十間長屋、鶴丸倉庫は藩政時代の金沢城内の建築の様相を今によく伝える貴重な遺構です。石川門は特に堅固に造られており、重厚な門さらには桁形で敵を迎え撃つ緊迫感が伝わる建築物だと思います。



五十間長屋では石落しや鉄砲狭間となる格子窓の配置が表と裏とで異なっていることや、菱櫓では建物の平面も約100本の柱も変形であることなど、細部にわたって工夫と技術が詰まっているところもじっくりと見てください。



菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓は石川門や三十間長屋と同様、鉛瓦や海鼠堀が外観の特徴です。明治以降に建てられた木造城郭建築物としては全国最大規模で、大きな松の木の梁など、その木組みをそのまま見ることができます。



D 金沢城 (MAP/P.39 B-3)

1583年に前田利家が金沢城に入城し、1586年頃には天守が築かれ、城下町の整備にも着手。1592年には石垣の改修が本格的にはじまり、近世城郭としての形態が整えられた。繊細かつ優美な姿から、加賀百万石の金沢城は、名城中の名城とされるも、その後の落雷と大火により大半の建物が焼失。現存する藩政時代の遺構は、石川門、三十間長屋、鶴丸倉庫。2001年に菱櫓・橋爪門続櫓・五十間長屋が復元完了、2010年には河北門、いもり堀（一部）が復元され現在に至る。また石垣・石積は「石垣の博物館」と称されるほど種類に富んでいるのも見所。



金沢市丸の内1-1
TEL / 076-234-3800
7:00~18:00 (10月16日~2月末日は8:00~17:00)、年中無休、入場料無料 (ただし、菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓について 大人300円)
城域 / 東西:約680m、南北:約670m
総面積 / 30万㎡ 構造形式 / 平山城、一・二・三段式・隔郭式縄張り



A 鼓門・もてなしドーム (金沢駅) (MAP/P.39 A-1)
【米国の旅行雑誌「トラベル・レジャー」のウェブ版で、「世界で最も美しい駅」の一つに選出】 歴史と伝統の街「金沢」の正門を表現する鼓門。金沢の伝統芸能である加賀宝生の鼓をデザインモチーフとする。らせん状にねじれながら建つ柱の構造美がすばらしい。金沢駅東広場を覆う「もてなしドーム」は、約5,500本のアルミフレームと3,019枚の強化ガラスで構成される。この種のトラス構造としては日本最大級と言われる。デザインは、雨の多い金沢駅へ降り立った来訪者に傘を差し出す「もてなしの心」をコンセプトとする。

金沢市木ノ新保町1-1
建築年 / 2005年 延床面積 / 約3,000㎡
構造形式 / 鼓門・木造、もてなしドーム・アルミ合金製張弦材ハイブリッド立体トラス



重要伝統的建造物群保存地区
B ひがし茶屋街 (MAP/P.39 C-2)
百万石文化の風情が色濃く残る金沢の名所。茶屋様式町家の艶やかな佇まいを感じて欲しい。 (詳しくはP.25-26へ)

Break time
a 茶房&Bar ゴーシュ (MAP/P.39 C-2)
茶屋街の狭い路地にある隠れ家的な渋いBar。古い町屋を改築した店内はしっかりと情緒的で、時間を忘れて寛ぎたくなる心地よさ。靴を脱いでまったりと、町家建築で一休みしてはいかが。
金沢市東山1-16-5 / TEL.076-251-7566 / 11:00~翌3:00(日曜は~24:00) / 定休日:火曜



C 尾山神社 (MAP/P.39 B-3)
前田利家公、おまつの方をお祀りする神社。金沢の歴史に浸りたい方はまずここへ。 (詳しくはP.9へ)

Model Route



ベーシック編

金沢城×金沢21世紀美術館
時代を極めた、
歴史建築と現代建築の競演

Kanazawa

金沢



百万石文化と総称される、伝統的な石川の技と感性。兼六園と金沢城が、街の中心で存在感を放つこの空間として建築群には、まぎれもなく百万石文化の遺産が色濃く遺されている。美を極める庭園と情緒的な町屋群。時代を越えてなお凄みを魅せる歴史建築。脈々と受け継がれたそんな優美な空間に、モダンな建築の巨匠たちが感性を競うように、自慢の建造物を加えてきた金沢。SANA A建築の金沢21世紀美術館が、世界も注目する建築作品として、金沢の存在に負けず劣らず多くの人を魅了する中、新たに美術館つくりの大手、谷口吉生建築の鈴木大拙館が加わって、建築ファンには堪らない「まち」に仕上がりました。





① 武家屋敷跡野村家 (MAP/P.39 A-4)

【米国の庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」誌の日本庭園ランキング3位(1位 足立美術館、2位 桂離宮)】野村家は、前田利家の金沢城入城の際に直臣として従った野村伝兵衛信貞の家系。建物は、1840年に加賀橋立最大の北前船主 久保家の邸宅の一部を移築したもの。室内は紫檀、黒壇材を使った精密な細工造りであり、格天井は総檜づくり、畳下は桐板張りであるなど、贅をこらした造作となっている。また襖絵も見事で、「上段の間」には狩野派の最高峰である法眼位の佐々木泉景筆の山水画、「謁見の間」には大聖寺藩士山口梅園作の白い牡丹の襖絵がある。

金沢市長町1-3-32 TEL/076-221-3553
8:30~17:30(10月~3月は8:30~16:30)、年末26日・27日休み、大人500円
建築年/1840年建築、1941年移築

Break time

④ 茶葉工房 たろう (MAP/P.39 A-4)



武家屋敷跡野村家に隣接して建てられた新しい和菓子屋さん。カカオの羊羹など新しい甘味の世界を生み出している人気の一店。庭園を眺めながら、抹茶と和スイーツも味わえるカフェスペースもGOOD。

金沢市長町1-3-32 / TEL.076-223-2838 / 8:30~17:30

長町武家屋敷跡 (MAP/P.39 A-4)

長町武家屋敷跡界隈には加賀藩士の中・下級武士の屋敷の跡が残っており、土堀や用水、石量の残る町並みは美しい歴史建築空間を創っている。土堀越しの町筋は甲州流兵法によって考えられ、方向感覚を麻痺させる袋小路や丁字路が随所に見られるのも見所。ボランティアガイドが常駐しているので、奥深い町の歴史と建築を知ることができる。



「金沢21世紀美術館」の建築を楽しむヒント

世界建築をリードするSANAAの代表作。注目すべきは衝撃的に新しいそのコンセプト。SANAAの飛び抜けた発想力を、正面も裏もない丸いカタチと、だれもがいつでも立ち寄ることができる公園のような美術館に感じよう。

建築家 **松島 健** の視点に学ぶ

シームレスな空間演出も見所の一つです。展示会ゾーン(有料)と交流ゾーン(無料)を透明なアクリル壁で区切り、双方でその様子や気配を感じられるところも実に上手いと感じます。

圧倒的な透明感、開放的で明るい空間の作り方は、美術館本来の魅力だけでなく、公園を歩くような気軽さを与えてくれます。設計コンセプトの秀逸さと表現の巧みさで群を抜く建築です。

【多方向性】

開かれた円形デザイン
どこからでも人々が訪れることができるよう、正面や裏側といった区別のない円形を採用。

【水平性】

街のような広がりを生み出す、各施設の並置
展示室などを水平方向に配置。街のような広がりを生み出す。

【透明性】

出会いと開放感の演出
「透明であること、明るいこと、開放的であること」を求めると同時に、出会いの感覚も演出。



ジェームズ・タレル〈ブルー・プラネット・スカイ〉2004

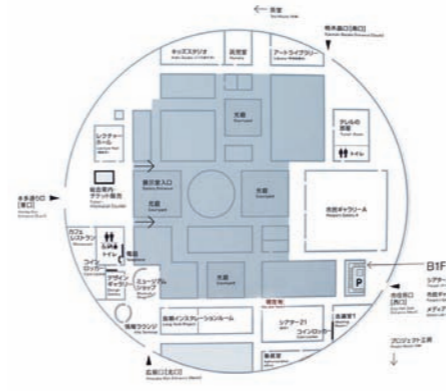
⑧ 金沢21世紀美術館 (MAP/P.39 B-4)

【ベネチア・ビエンナーレ第9回国際建築展金獅子賞受賞】2004年のオープン以来、現代美術館としては異例の集客を続け、各方面から高い評価を受ける金沢の新しいシンボル。周辺の歴史的街並みの中で、白く透明性の高い円形の建物が見事に調和する。この建物の素晴らしさは、ビジュアルの美しさもさることながらそのコンセプトが秀逸である。円形の建物であることから、どの方向から見ても正面性を持っており、公園のように人が自由気ままに出入りする。また、一面ガラスの外壁による透明性と水平でフラットな建物の形から、外部に開かれ街と一体化した外観デザインが成し遂げられている。ほぼ水平方向に配置された展示室やカフェレストランなど、館内を歩く来館者にとって街のような広がりを生み出す。

金沢市広坂1-2-1 TEL / 076-220-2800
交流ゾーンは9:00~22:00、展示会ゾーンは10:00~18:00(金・土曜日は20:00まで)、月曜(月曜が祝日の場合は、その翌平日)及び年末年始休み。入館無料、展示会観覧料は内容や時期により異なる。
設計 / 妹島和世建築設計事務所+衛SANAA事務所共同体
建築年 / 2004年 延床面積 / 28,160.1㎡

妹島和世+西沢立衛 / SANAA

プリッカー賞も受賞し、最近特に雑誌などで頻りに登場する人気建築家ユニット。建物自体、白を基調とする作品が多く、簡素化されたシンプルな造形美が特徴的。(代表作)ルーヴル・ランス(フランス・ランス/2012年)、ローザンヌ連邦工科大学ラーニングセンター(スイス/2010年)



※21世紀美術館・館内の案内図より

⑤ 成美閣 (MAP/P.39 C-4)

前田家12代藩主斉広の奥方・真龍院の御殿。金沢の歴史と建築の見所が凝縮した必見スポット。
(詳しくはP.10へ)



⑥ 石川県立美術館 (MAP/P.39 C-4)

石川県の中心的美術館にふさわしい10の展示室、ホール、講義室を備え、要所に本多の森の緑と光を巧みに取り込むワイエを設け、落ち着いた空間を作る。敷地の高低差を利用したり、建築そのものの高さを抑制することで建物の圧迫感を和らげ、本多の森に溶け込んだ景観を形成している。白磁の特殊レンガの質感と温かみのあるクリーム色の外観が、広場を隔てて対面する石川県歴史博物館の赤煉瓦と見事なコントラストをなしている。隣接する広坂別館は、大正時代に陸軍第九師団の師団長官舎として建てられたものであり、近代洋館建築の面影を残す。

金沢市出羽町2-1 TEL/076-231-7580
9:30~18:00(入館は17:30まで)、展示替え期間及び年末年始休み、一般350円(2階展示室)
設計 / ㈱富家建築事務所・大屋建築設計事務所・㈱五井建築設計研究所・ムラヤマ事務所 建築年 / 1983年 延床面積 / 12,422.33㎡ 構造形式 / 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)

Break time

⑦ ルミューゼドウアッシュ KANAZAWA (MAP/P.39 C-4)



歴史を湛える美術館の一角で過ごす特別な時間。「和をもって世界を制す」をコンセプトに世界を魅了してきた辻口博啓氏が提案する全く新しいカフェ。最高級日本茶の代名詞ともいわれる「宇治の本玉露」と趣向を凝らしたオリジナルスイーツをコースで堪能できる。

金沢市出羽町2-1(石川県立美術館内) / TEL.076-204-6100 / 10:00~19:00 / 年中無休

⑨ 鈴木大拙館 (MAP/P.39 C-5)

世界的仏教哲学者 鈴木大拙の思想や足跡を紹介する記念館。谷口吉生氏の新たな代表作と評判。
(詳しくはP.21へ)

【前田家と徳川家の関係】
前田家と徳川家の深い関係は、次の二つの歴史的事実からも読み解くことができる。
1601年のうちに2代将軍となった徳川秀忠の娘・珠姫（天徳院）が興入れる。その際、江戸から付き従った300人のお供のために長屋が設けられた。江戸町が置かれた場所には現在の兼六園に面する茶店通りがある場所である。
また尾崎神社は、幕府から東照大権現の勧請を許された4代藩主前田光高が、1643年、金沢城北の丸に創建。建物には徳川葵の御紋が散りばめられ、「金沢城の江戸」「北陸の日光」と呼ばれたほどの十数棟にも及ぶ豪華な社殿があった。

【前田利家と建築家】
1583年ごろ、前田利家は加賀百万石の治世を行うにあたり、生国の尾張や安土城建設にかかわった大工、石工技術者集団を引き連れて金沢に入り、「大工百人余」に邸地を与えた。当時の「大工」は今でいえば建築家であり棟梁クラスを指す。江戸時代、徳川幕府をはじめ国内の大工集団を支配したのは「建仁寺流」と「四天王寺流」であるが、驚くのはこの二大流派をそっくり抱えたのは加賀藩と徳川幕府だけだという。彼らは明治維新まで加賀藩内で技を競い、藩もその各系統を競わせるように使ったとされる。
以来、金沢には金沢城の石垣と兼六園が街の象徴としての歴史と景観を支えながら、周辺には江戸時代から続く名建築を生み出す遺伝子が脈々を受け継がれてきた。



【群青書見の間】
紫の壁・白群青の天井・鉄砂の床壁・火頭窓・床柱・ギヤマンと小さな空間を意匠が縦横に飛び交っている。

【謁見の間】
公式の御対面所。花鳥の欄間を境とし上段、下段18畳からなり、格式ある格天井、折上格天井が用いられている。

【蝶の間】
天井や障子の意匠が斬新で、竹を用いた障子の棧やオランダから輸入されたギヤマンには小鳥の絵が焼き付けられている。



D 天徳院（山門） (MAP/P.40 B-4)

1623年に3代加賀藩主 前田利常がその室、天徳院（珠姫）の菩提を弔うため開山した曹洞宗寺院。失火により山門のみを残して大半が焼失、その後再建されるが、現在の配置は元禄期の面影は留めていない。類焼をまぬがれた山門は建立当初の遺構で、二階二重門としては石川県下で最も古く、禅宗様と和様の折衷様式となっている。棟札には、「元禄6年（1693年）10月10日上梁、工匠 山上伊左衛門吉永、安田善次郎正納」とあり、山上善右衛門嘉広の子によって建てられたことがわかる。善右衛門の遺風をよく伝えている名作として楽しめる。

金沢市小立野4-4-4 TEL/076-231-4484
9:00~16:30(12~2月は16:00まで)、12-2月の毎週水曜及び12/29~1/3休み、大人500円
設計/山上伊左衛門吉永、安田善次郎正納
建築年/1693年 構造形式/木造

C 成巽閣 (MAP/P.39 C-4)

成巽閣は江戸時代末期の1863年に、13代加賀藩主 前田資泰が生母の隠居所として造営した奥方御殿。1階には「謁見の間」、御寝所である「亀の間」、御休息の間である「松の間」などが配され、大名御殿に相応しい風格と女性らしい優雅さを備えた書院造りとなっている。また2階には「群青書見の間」、「網代の間」、「越中の間」などが配され、天井・壁・床の間の色彩や材料に意匠を凝らした数寄屋風書院造りの手法であり、華麗な色彩にあふれた大胆な意匠で、洗練されている。建築的にも見所の豊富な成巽閣であるが、とりわけ庭に面した1間幅の広縁は、深い軒をテコの原理を利用した「結木」で支えており、柱が1本も入らない長さ約20mの空間美は圧倒的に素晴らしい。各所に配された意匠や装飾も見事で、上段の間と下段の間では、一枚板に花鳥を透かし彫りにし、着色された欄間がはめ込まれている。加賀の名工武田友月の作とされており、一見の価値がある。

金沢市兼六町1-2 TEL/076-221-0580
9:00~17:00(入館は16:30まで)、毎週水曜(祝日の場合は翌日)及び12/29~1/2休み、一般・大学生700円
設計/中村半左衛門 建築年/1863年 建築面積/約1000㎡
構造形式/木造2階建、寄棟造



A 尾崎神社 (MAP/P.39 B-3)

4代加賀藩主 前田光高が2代将軍 徳川秀忠の外孫にあたることを理由に、幕府より東照権現の勧請を許可され建てられた。もとは金沢城北の丸に立地し、金沢東照宮と呼ばれていた。幕府の御大工・木原木工允が設計し、本殿、中門、透塙、拝殿、幣殿が国指定重要文化財である。本殿は内外部とも漆を塗り、彫刻や斗きょうを極彩色とし、飾り金具を打ち、日光廟の仕上げを模した華麗なものである。特に花梨斗型釘隠金具は京都の二条城御殿にも匹敵する格調の高い品である。

金沢市丸の内5-5 TEL/076-231-0127 6:00~20:00、拝観自由
建築年/1643年(1878年修築) 構造形式/本殿:三間社流造、拝殿:入母屋造・平入・千鳥破風付、中門:平唐門



B 尾山神社（神門） (MAP/P.39 B-3)

尾山神社は、初代加賀藩主 前田利家を祀る神社として卯辰山の麓に創建された卯辰八幡宮を、1873年に遷座したもの。建築物としても魅力的な神門は、幕末から明治にかけて加賀地方で活躍した大工棟梁の津田吉之助によって設計された。和漢洋の3様式を折衷し、見よう見まねで建てた擬洋風建築の3層楼門であり、伝統的なスタイルとは一線を画したデザインとなっている。1層目は戸室石積みで3つのアーチを持ち、石積みの下地には煉瓦が積み、白漆喰の壁で包まれている。2、3層目は壁を銅板で覆い高欄を廻し、3層目の大きな窓は4面すべてにギヤマン(ステンドグラス)が使われており、かつては中で明かりを灯して灯台の役目を果たしたと伝えられている。屋根には日本初となる避雷針が設置されている。

金沢市尾山町11-1 TEL/076-231-7210 年中無休、拝観自由
設計/津田吉之助 建築年/1875年 構造形式/石及び木造、3階建、宝形造

※江戸時代〜明治時代初期
まさに石川の歴史建築と歴史物語の粋が詰まった建造物として堪能できる。

【江戸時代を中心とした歴史建築めぐり】

Model Route

2

【ディープ編】

建築と時が織りなす、
魅惑の世界へ潜り込む

Kanazawa

金沢



建築とい視点で見れば、金沢の「まち」は建築史を見事に紐解く博物館だと言えしなないか。前田家の治世が遺した江戸時代の歴史建築群、明治・大正・昭和の浪漫建築群、巨匠たちが手がけた現代建築群。百万石文化の息吹が時代を極めた建物たちの存在を許し、稀有なまちづくりを可能にした。時代は違えど、それぞれが美しいフォルムを湛え、オリジナルなコンセプトの上に魅惑的な装飾が存分に施されて見応え充分。じっくりと歴史を紐解き、その時代の感性に触れながら、建築と金沢の魅力を体感する旅へ出かけよう。金沢城 兼六園を中心にひと歩き。さあ、ディープな金沢へ。



A~D 江戸時代を中心とした歴史建築めぐり
A~D 明治・大正・昭和初期の時代建築めぐり
A~E 有名建築家の現代建築めぐり

天徳院（山門）



谷口吉郎

B 石川県立伝統産業工芸館 (MAP/P.39 C-4)

元は石川県美術館として建てられ、現在は九谷焼や加賀友禅等石川県の伝統工芸を紹介する工芸館。建築家谷口吉郎氏の代表作の1つである。外観は谷口吉郎氏らしい深い出を持った庇や、細かな白のモザイクタイルを張りつめていたものの真壁ににせた柱型と壁の連続、格子状のルーバーなど、日本の伝統美を現代建築に持ち込んでいる。内部の床は、隣接する金沢城の石垣を平面的に敷き詰められたように、丸石の割石敷風となっている。

金沢市兼六町1-1 TEL/076-262-2020
9:00~17:00(入館は16:45まで)、4~11月の第3木曜、12~3月の毎週木曜及び年末年始及び展示替え期間休み、大人250円(2階)
設計/谷口吉郎 建築年/1959年 構造形式/鉄筋コンクリート造



谷口吉郎・吉生

A 金沢市立玉川図書館 (MAP/P.39 A-2)

赤レンガの国登録有形文化財である別館とコルテン鋼の外壁とガラスから構成される現代的な本館が融合した名建築。金沢市出身の建築家谷口吉郎氏が総合監修、その息子の谷口吉生氏が設計を担当。本館正面は出入りの無いすっきりとした方形で、耐候性鋼板とフィックス(はめ殺し)のガラスから構成される単純さと、玄関入り口のシルバーの円筒が現代性を強調している。本館を入ると正面に別館へ至る煉瓦のブリッジがあるが、これは別館煉瓦棟の意匠を取り込むと同時に両者をつなぐ役割を担う。※館内の撮影は許可が必要です。

金沢市玉川町2-20 TEL/076-221-1960
10:00~19:00(土日祝は17:00まで)、月曜(祝日を除く)、年末年始及び特別整理期間休み
設計/谷口・五井設計共同 建築年/1979年 延床面積/6,337.43㎡ 構造形式/本館:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)

「現代建築を代表する名建築家たちの競演」
金沢21世紀美術館が、建築旅の象徴として存在感を際立たせ、鈴木大拙館がさらに魅力を盛り込んだ金沢。しかし金沢の街はその前から世界的に活躍する名建築家の作品が並び、世界的に活躍する名建築家でもあるモダニズム建築の巨匠、谷口吉郎氏の建築群が集積し、黒川紀章氏、内井昭蔵氏の作品が独特の主張を放つ。新しく加わった金沢海みらい図書館は建築好きがカメラ片手に訪れるなど、まさにアーキテクチャーツーリズムの先陣を切る金沢らしい風景を見せる。

谷口吉生
ニューヨーク近代美術館の新館を設計した建築家。本当に凄い建築家として建築ツウの評価が高いのがこの方。直線のみで構成される空間表現は圧倒的に美しい。
(代表作) 東京国立博物館法隆寺宝物館(東京都台東区/1999年)、ニューヨーク近代美術館新館(ニューヨーク/2004年)

谷口吉郎
谷口吉郎は金沢市出身の日本のモダニズム建築の父と呼ぶにふさわしい建築家。
(代表作) 帝国劇場(ロビー・客席)(東京都千代田区/1966年)、東京国立近代美術館(東京都千代田区/1969年)

【有名建築家の現代建築めぐり】

A 北國銀行 武蔵ヶ辻支店 (MAP/P.39 B-2)

建築家 村野藤吾の若き日の貴重な作品。外観は手焼きの焦げ茶色のスクラッチタイルを貼った直方体に、2階部分の高さをもつ大きな3つの表現派的なシェルアーチ(砲弾型アーチ)を付けている。アーチの内部に見える格子状の欄なども、その装飾に目を見張る。近年改装を行い、1階には銀行の支店に加えてカフェが併設、3階のギャラリーにはかつて利用されていた金庫扉の展示などがあり、内部空間も気軽に楽しめるようになった。

金沢市青草町88
設計/村野藤吾・村野建築事務所
建築年/1932年 構造形式/鉄筋コンクリート造



村野藤吾

B 石川四高記念文化交流館 (MAP/P.39 B-4)

かつては学舎金沢のシンボリック存在だった第四高等学校の赤煉瓦校舎。設計者は文部省省立局所属の建築家である山口半六と久留正道であり、旧制第一高等学校をはじめとする、いわゆるナンバースクール旧制高等学校、後の旧制高等学校の建築を手掛けている。フランスのエコール・サントラルで建築を学んだ設計者の作品らしく、ルネサンス風で抑制のきいた明快さがよく表われている。赤煉瓦を精密に積み込んだ壁面に、白煉瓦の線や焦茶色の煉瓦の巧みな扱い、窓上のアーチの軽妙な円弧などは壁面の質感や意匠に深みを出し、端正で清楚な構成、静けさを感じられる名作である。

金沢市広坂2-2-5 TEL/076-262-5464
(展示室)9:00~17:00(入館は16:30まで)、(多目的利用室・レイト体験室)9:00~21:00、12/29~1/3休み、(近代文学館)一般350円、(石川四高記念館)無料
設計/山口半六、久留正道 建築年/1891年 延床面積/1,068㎡



山口半六、久留正道

C 石川県政記念いのき迎賓館 (MAP/P.39 B-4)

旧石川県庁舎本館の正面側を保存・再生し、金沢公園に面する北側を透過性の高いガラス張りとした建物で、新旧の共存による調和が図られている。保存部分は、国会議事堂の直接的責任者として知られる矢橋賢吉の設計。正面は天然記念物である2本の堂形のシイノキと一体となった大正時代の格調高い外観が保存されている。外壁のスクラッチタイル(愛知県武豊産)は、旧帝国ホテルにも使用された当時の最新の建築素材である。増築部分には二層吹き抜けのイベントホール、レストランを配し、横幅約80mに及ぶ全面ガラス張りからは金沢城の石垣のパノラマ風景を出現させている。

金沢市広坂2-1-1 TEL/076-261-1111
9:00~22:00、年末年始休み、入館無料
設計/保存部分:矢橋賢吉、改修工事:山下設計 建築年/保存部分:1924年、改修工事:2010年 延床面積/4887.64㎡
構造形式/保存部分:鉄筋コンクリート造、増築部分:鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造



矢橋賢吉



堀場弘+工藤和美(シーラカンスK&H)

D 金沢海みらい図書館 (MAP/P.40 A-3)

【米国の大手ネットサービスサイトの「世界で最も美しい公共図書館ベスト25」に選出】
工藤和美氏と堀場弘氏の共同主宰によるシーラカンスK&Hの代表作。設計者の堀場氏は、海みらい図書館の設計にあたり、「柔らかな光に満たされた外のような開放感」の実現を目指したとされる。その想いは、壁に無数の丸窓をつけて壁面全体から自然光を取り入れ、均一かつ柔らかな採光を可能にする「パンチングウォール」の採用により実現された。そこには天窓では冬季の積雪時に十分な採光が得られない可能性があることに加え、壁面をガラス張りにすれば日差しの強さで蔵書が痛むこと、冬季の結露発生などのリスクが高くなることまでが考慮されている。結果、現代建築としての魅力が大いことから様々なメディアでも取り上げられ、多くの建築ファンが足を運んでいる。※館内の撮影は許可が必要です。



金沢市寺中町1-1 TEL/076-266-2011 10:00~19:00(土日祝は17:00まで)、水曜(祝日を除く)、年末年始及び特別整理期間休み
設計/堀場弘+工藤和美(シーラカンスK&H) 建築年/2011年 延床面積/5438.97㎡ 構造形式/鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造)

E 石川県金沢港大野からくり記念館 (MAP/P.40 A-3)

江戸時代後期、金沢市大野地区で平賀源内と並び賞された「科学者」であり「からくり師」であった大野弁吉の記念館。大野弁吉が考案したからくり人形やおもちゃ、仕掛けが多数展示される。建物は管理棟と展示棟に分かれるが、いずれも設計者内井昭蔵に特徴的な塔状建築。特に展示棟は平面的には正円ではなく楕円形で、また外壁も微妙に傾斜しており、複雑な形状となっている。管理棟や渡り廊下の外壁は日本海の砂をイメージした色彩とテクスチャーで表現され、展示棟は大野港に寄港した北前船を思わせる外観を持ち、「からくり」になみ、柱梁の軸組や柱間の開口部の格子が複雑に組み立てられている。

金沢市大野町4甲2-29 TEL/076-266-1311 9:00~17:00(入館は16:30まで)、水曜(祝日の場合は翌日)及び12/29~1/3休み、大人300円
設計/内井昭蔵 建築年/1996年 延床面積/864.66㎡

内井昭蔵
日本正教会の聖職者としての顔を持つ建築家。モダン建築の流れとは異なる、曲線を生かした親しみやすい独特の表現が印象的。
(代表作) 皇居・吹上御苑の新御所(東京都千代田区/1993年)、国際日本文化研究センター(京都府京都市西京区/1994年)



黒川紀章

C 本多の森ホール (MAP/P.39 C-5)

当地にあった石川県営兼六園野球場が1973年閉鎖、移転したため、その跡地に石川厚生年金会館として建設された。もともと野球場の跡地を利用したことなどから、建物平面形状は野球場そのものとなり、音楽ホールは野球場の内野部分、ステージはホームベースにあたる。外壁は設計者いわく「利休風」の色をイメージした黒緑に近い色。利休風は江戸後期の「四十八茶百鼠」と呼ばれる流行色の一つ。建設当時は、その色彩が暗すぎて北陸の冬空を思わせるなどと、大きな論争を呼んだ。

金沢市石引4-17-1 TEL/076-222-0011
設計/黒川紀章 建築年/1977年 延床面積/15,606㎡ 構造形式/鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)

黒川紀章
世界各地で完成した作品は高い評価を得ている。フランス建築アカデミーのゴールドメダルを受賞。
(代表作) ゴッホ美術館新館(オランダアムステルダム/1999年)、国立新美術館(東京都港区/2006年)



内井昭蔵



D 石川県立歴史博物館 (MAP/P.39 C-5)

明治末期から大正初期にかけて全国に建てられた陸軍省の兵器庫の一つ。旧金澤陸軍兵器支廠の兵器庫3棟は、いずれも煉瓦造、2階建て、左右対称を基本とした端正な意匠でまとめられており、90mに及ぶ長大な建物と並ぶ姿は壮観。全国各地に残る兵器庫は細部の造形に若干の違いがあるものの、基本的には同じ形態であることから、陸軍省の標準設計が存在し、それに従って建設されたと考えられる。

金沢市出羽町3-1 TEL/076-262-3236
設計/陸軍第九師団経理部 建築年/1909~1914年
延床面積/7,541㎡ 構造形式/煉瓦造2階建
※リニューアルのため2013年3月から約2年間休館。
2015年春リニューアルオープン予定。

a 湯涌温泉 (MAP/P.40 C-5)

開湯1300年。藩政時代にはお殿様の湯浴び場として、また、1917年(大正6年)には竹久夢二が笠井彦乃と過ごした金沢の奥座敷。

湯涌温泉観光協会
金沢市湯涌町11/TEL.076-235-1040

Break time

「石川県七尾美術館」の建築を愉しむヒント

設計者は内井昭蔵氏(1933-2002)。キリスト教の正教徒であることが氏の設計思想に強く影響を及ぼしている。

「健康な建築」を唱え、人間と建築が馴染みあう空間を求めた建築家。七尾という街の名前へのこだわり、海との一体感を感じさせる景観の醸成、珪藻土とタイルのモザイクデザインが生み出す温もりのある質感など、内井昭蔵氏ならではの感性と遊び心を楽しもう。

ダイナミックな全体構成でありながら、細部まで行き届いたデザインが凄いと感じます。

- ◎廊下に注ぐ光の濃淡
◎廊下や階段など、幾何学をモチーフとした様々な装飾美
◎自然な優しい色の中で存在感が際立つビビットなホールの椅子

建築家 漆崎義和の視点に学ぶ



プレキャストコンクリートの曲線屋根は、七尾の山並みを表現しながら内部空間に秩序をつくっています。

◎外観のモチーフは七つの尾根

F 石川県七尾美術館 (MAP/P.38 B-4)

七尾市は古くから能登の政治、経済、文化の中心として栄え、桃山美術の画聖と讃えられる長谷川等伯誕生の地でもある。館内では、等伯の作品を大型ハイビジョンで鑑賞できるほか、講演会やコンサートが可能なアートホールや市民の発表の場となる市民ギャラリーを備えている。建物には内井昭蔵氏の設計らしい穏やかでやさしい温もりがあり、氏の代表作の一つである世田谷美術館から引き継がれたデザインが随所に見られる。一番の特徴は、七尾市の地名の由来(城山に連なる7つの尾根)をイメージしたドーム型の連続した屋根と地域特産の珪藻土をモチーフにした外壁。また、一体整備された児童公園を眺められる窓は、まるで壁に掛かった風景画を思わせる。

七尾市小丸山台1-1 TEL/0767-53-1500
9:00~17:00(入館は16:30まで)、毎週月曜及び祝日の翌日(土日除く)及び年末年始及び展示替え期間休み、(通常入館)大人800円以内
設計/内井昭蔵建築設計事務所 建築年/1994年 延床面積/3,049.87㎡ 構造形式/鉄筋コンクリート2階建



シンプルな形の反復で美しい空間を表現するのも内井昭蔵氏が好んだ手法です。こうした積み重ねられたデザインに、私自身、とても好感を抱きます。

- ◎曲面屋根と同形の珪器質タイルと地元産珪藻土の塗壁によるテクスチャーで独特の風合いをかもしている
◎庭に並んだモニュメント

Break time

b 一本杉通り商店街 鳥居醤油店 (MAP/P.38 B-4)

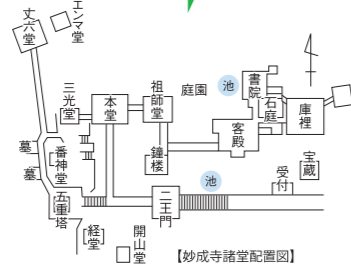
和ろうそくのお店や乾物屋、お茶屋など登録有形文化財に指定される建物が5軒程点在する商店街。その通りの中ほどに、ある鳥居醤油店は土間のままの店内がシンプルでもあり、昔ながらの職人情緒を感じさせます。もろみを使った味わい深いアイスも人気で、散策の途中に楽しみたい。

七尾市一本杉町29 / 0767-52-0368 / 9:00~18:30 / 定休日:無し

造形をウンヌンする前に、それが純粋に人の力だけで造られたことを思いください。電気も機械も使わないで、これだけのものを造り上げ、何百年という時間を経てもそのままのカチで狂いなく残っている。五重塔を下から見上げるととても良く実感出来ますよ。

建築家 谷重義行の視点に学ぶ

境内入口から二王門と五重塔が一直線に配され、地形を上手く利用して天に向かって登っていくイメージを創り出す世界観は素晴らしいですね。宗教建築ではこうしたコンセプトや世界観を楽しむことが面白さだと思います。その意味で妙成寺は楽しむ要素がたくさんあります。



G 本行寺 (MAP/P.38 B-4)

本行寺はキリシタン大名 高山右近が、前田家の庇護を受け、国外追放直前までの26年間関わったお寺。海上交通の要所である七尾湾を擁し、南蛮医学・土木・航海・建築・火術などを修得する、北陸最大の文化拠点でもあった。

七尾市小島町134 TEL/0767-53-0799
事前に問合せ必要、300円 建築年/文明年間



→歴史もGOOD

キリシタン信仰ゆえに秀吉から追放された高山右近を、前田利家は客将として迎え、キリスト教文化を吸収することで加賀百万石文化に大きな影響を与えた、その歴史物語が色濃く残る。



A 石川県西田幾多郎哲学館 (MAP/P.40 C-1)

「考えること」をテーマにした安藤忠雄の作品。外には季節の草花を散策できる思案の道がひろがり、館内には考えるためのスペースが随所に設けられている。すり鉢状に吹き抜けが広がり、天窗からは陽の光が射し込む冥想の空間「ホワイエ」など、安藤忠雄らしいコンセプトアルな空間がちりばめられている。

かほく市内日角井1 TEL/076-283-6600 9:00~17:30、月曜(祝祭日の場合はその翌日)及び年末年始(12月29日~1月3日)休み、展示品の入替えまたは、哲学館運営のため必要な期間休み、大人500円
設計/安藤忠雄 建築年/2002年 延床面積/2,952㎡ 構造形式/鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上5階、地下1階

安藤忠雄
プリッカー賞や世界文化賞などを受賞している世界的な建築家。打ち放しコンクリートの住宅や商業建築は彼の代名詞とも言える。(代表作) 地中美術館(香川県/2004年)、表参道ヒルズ(東京都渋谷区/2005年)



B 海と渚の博物館 (MAP/P.40 B-1)

船をモチーフにした内井昭蔵作品。常設展示となる吹き抜けの大空間は、空間の広がりを爽快に感じながら、木組みの幾何学模様が繊細な印象を与える。

かほく市白尾ム1-3 TEL/076-283-8880
9:00~17:00、月曜(祝祭日の場合はその翌日)及び年末年始(12/29~1/3)休み、大人200円
設計/内井昭蔵建築設計事務所 建築年/1999年 延床面積/1,939㎡



C 気多大社 (MAP/P.38 A-4)

奈良時代には北陸の大社として京にも名が伝わっており、万葉集にも歌が残る。現在は縁結びの神社としても有名で、多くの参拝客が訪れる。本殿、白山神社本殿、若宮神社本殿、拝殿、神門が国指定重要文化財。蔵島神社などにしか見られない本殿の両流れ造りや、若宮神社本殿の墓股や手鉾の彫刻など建築としての見所も多い。

羽咋市寺家町71-1 TEL/0767-22-0602 年中無休、拝観自由
設計/拝殿:山上善右衛門 建築年/拝殿:1653年
構造形式/拝殿:桁行3間、梁行3間、入母屋造り、檜皮葺

→パワースポットとしてもGOOD

その名のとおり、多くの「氣」が集う神社。拝殿には数々の試練を乗り越えて恋を成就させた伝説の「大國主神」がまつられ、縁結びの神社として数多くの若い女性が訪れる。

D 妙成寺 (MAP/P.38 A-4)

1294年から続く北陸に於ける日蓮宗の本山。近世になり、前田利家から寺領の寄進を受け、利家の側室寿福院(三代藩主前田利常の母)の帰依を受け、その菩提寺となる。創建以来、大きな火災や倒壊等が無く七重伽藍がそのままの姿を残し、10棟が国指定重要文化財となっている。特に本堂、祖師堂、五重塔等は、前田家御用大工坂上一門によって手がけられ、桃山時代の雄渾華麗な面を建築上遺憾なく発揮していると言われる。境内入口から二王門と五重塔が一直線に配され、その地勢を利用して石段を設けて一歩一歩高見に進むようになっており、最高所に五重塔が配されている。このように伽藍の中心を五重の塔に配している例は少なく価値が高い。

羽咋市海谷町31 TEL/0767-27-1226 8:00~17:00(11~3月は16:30まで)、年中無休、大人500円
設計/坂上又三郎親子3代・山上善右衛門 建築年/1600年代 構造形式/木造

E 石川県能登島ガラス美術館 (MAP/P.38 B-3)

能登半島と七尾湾を一望できる小高い丘の上にある美術館。独特の造形形で知られる建築家 毛網毅曠氏の世界へどうぞ。(詳しくはP.28へ)

a 和倉温泉 (MAP/P.38 B-4)

穏やかな内海に寄り添って大型旅館が建ち並ぶ和倉温泉。空を写す海、対岸の能登島を繋ぐ2つの橋を景観に取り込んで海の湯町情緒を湛える。能登島大橋から見る海越しの温泉街は、アーキテクチャツールの宿泊地に相応しい美観を備え、季節と朝夕とで表情を変えるのも面白い。ぜひお立ち寄り。

和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合
七尾市和倉町2-13-1 / TEL.0767-62-1555



妙成寺×石川県七尾美術館
絶景の海に寄り添う、
優しき空間に憩う

Model Route



Noto

能登

口中能登

建築好きにとって、能登は実に魅力あふれる場所である。前田利家が手がけた七尾の街並みはその面影を色濃く残し、禅をはじめとした宗教文化の重要な聖域として篤い保護を受けながら、素晴らしい自然と調和する歴史建築と現代建築とに出会えるのが能登である。千里浜なぎさドライブウェイを玄関口にして、縁結びで知られる気多大社、五重塔が佇む妙成寺、前田家の歴史を紐解く本行寺をはじめとした山の寺院群などの寺社建築にしっかりと浸る。海沿いの道を北へ行けば波が作り上げた巖門、能登金剛の造形美、和倉温泉の近くには、能登の風景を借景とする2つの美術館が待っている。



C 輪島温泉郷 (MAP/P.38 B-2)

「輪島温泉」「ねぶた温泉」「湯元能登輪島温泉」などの源泉があり、いずれもお肌がツルツルになる弱アルカリ泉なのが輪島温泉の魅力。地元の女性が好んで通うのも納得。

輪島観光センター 輪島市河井町20-1-131 TEL:0768-22-1503

Break time

d 間垣の里 大沢・上大沢 (MAP/P.38 A-2)

冬の日本海から吹きつける季節風から家屋を守るために、大沢・上大沢地区では高さ約5mの苦竹を家の周囲に並べて垣根を作る。美しい漁村風景や海士さんたちが海に漂う姿も加わって、いっそう魅力的なアーキテクチャツーリズムに。

輪島市大沢・上大沢



Break time

E 大本山總持寺祖院 (MAP/P.38 A-2)

永平寺とともに曹洞宗の大本山として栄えた古刹。奥能登の地で威厳と風格を湛えている。(詳しくはP.21-22へ)



[角海家]

F 黒島地区 (MAP/P.38 A-2)

重要伝統的建造物群保存地区

北前船の船主および船員の居住地として栄え、江戸後期から明治中期にかけて全盛を極めた集落。独特の平面形式や外観を見せる町家群が、周辺の自然環境と一体となって歴史的風致を今日によく伝えている。その中で角海家は、現存する黒島の代表的な廻船問屋住宅。

輪島市門前町黒島町 <角海家> 輪島市門前町黒島町口の94-2 TEL / 0768-43-1135
9:00~17:00(入館は16:30まで)、月曜(祝日の場合は翌日)及び年末年始(12/29~1/3)休み、15歳以上(中学生を除く)300円 建築年 / 1872年 構造形式 / 木造



毛網穀蔵

G ビュー・サンセット (MAP/P.38 A-2)

毛網穀蔵氏の設計。デザインは幾何学的形態を多用しながら、材料は下見板や塗壁が殆どなので落ち着いた印象も受ける。日本海を一望できる展望台(老朽化により閉鎖中)、夕陽を眺める円弧形の回廊など、悟りとやすらぎの世界「曼荼羅」を表す設計となっている。

輪島市門前町千代29-58 TEL / 0768-42-2050

建築年 / 1991年 延床面積 / 1428㎡ 構造形式 / 鉄骨造、鉄筋コンクリート造、木造



H 阿岸本誓寺 (MAP/P.38 A-3)

規模、構造、細部意匠のいずれにおいても、浄土真宗寺院の1つの典型を示した建築物。本堂の柱は背面側を除き全て円柱を使用した禅宗様。大規模建築物にもかかわらず、豪快な茅葺屋根を保存していることは貴重であり、県内はもとより全国的にも稀有な存在である。なお境内の「アギシコギクザクラ」は、小さな花に170~200枚もの花びらをつける山桜の一種で、桜の名所としても知られる。

輪島市門前町南力26乙 TEL / 0768-45-1355 8:30~16:30、年中無休、境内自由(志)

建築年 / 本堂:江戸時代後期



C 時國家 (MAP/P.38 B-1)

時國家13代藤左衛門時保の時に分立して加賀藩領のこの地に移り、藩の山役や塩吟味役を勤めた。九六間住宅(間口九間、奥行き六間)と呼ばれる大規模な農家住宅が点在する奥能登地方でも特に規模が大きく、茅葺の大きな屋根は緩やかな勾配で4方に瓦葺の庇を巡らしている。真ん中の大黒柱を含む3本の独立柱や幾重にも重なる巨大な梁組など、農家住宅らしい質実さを備えている。2千坪の庭園も見所の1つ。

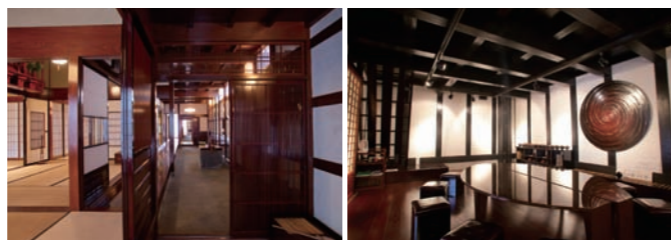
輪島市町野町西時國2字1-1 TEL / 0768-32-0075
8:30~17:00(入館は16:30まで)、1/4~2/28は冬期休業につき土日祝日のみ開館(平日は要予約)、大人600円
建築年 / 江戸時代前期 延床面積 / 約357㎡ 構造形式 / 木造平屋建・茅葺き入母屋造

Break time

b 白米千枚田 (MAP/P.38 B-2)

小さな田が幾何学模様を描いて海岸まで続く千枚田。田の枚数は国指定部分で1,004枚を数える。水を湛える春から夏には海に沈む夕日が映えて一層美しい景観を見せる。棚田は日本が誇る建築の原点であるとする隈研吾氏の視点に共感しながら、能登の田園風景をめぐると面白。

輪島市白米町八部99-4



D 輪島屋善仁 塗師の家 (MAP/P.38 B-2)

輪島の塗師文化を証明する建築物。外観は質素な仕舞屋(普通の家)風に見せてはいるが、建物の配置は、後部に作業場を持つ町家建築である。内部は外観の平屋風の小さな家の印象を覆す広い通り庭の空間が展開されている。その総拭き漆の簡素な美しさは、利休が堺で建てた町家を彷彿させる数寄屋の建築の原点と評価がなされ、日本で一番美しい町家と言われている。

輪島市河井町1-82-3 TEL / 0768-22-5811 9:00~16:00、水曜及び年末年始(12/29~1/3)休み
建築年 / 主屋:1911年、作業場:江戸後期、1990年 全体改修工事 延床面積 / 668.84㎡ 構造形式 / 木造一部3階建



長谷川逸子

A 珠洲市多目的ホール ラポルトすず (MAP/P.38 C-1)

設計者と市民がワークショップにより「軽やかにたどる白い雲の群」をコンセプトとする建物に。大小のレンズ状の円盤が連なった雲をイメージした大屋根、うねった曲面のガラス壁で構成された大きな空間に、卵形の小空間を挿入して軽やかでファンタジックな造形が創造されている。中庭が曲面に沿って流れ込んで室内と一体化した空間、またそれと対比的に閉じられた多目的ホールの空間の対比が魅力的。

珠洲市飯田町1-1-8 TEL / 0768-82-8200
9:00~22:00、火曜及び年末年始(12/29~1/3)休み

設計 / 長谷川逸子・建築計画工房 建築年 / 2006年 延床面積 / 3,511㎡

Break time

a 禄剛崎灯台 (MAP/P.38 C-1)

能登半島の先端に位置し、海抜47mの崖上にあり、晴れた日には七ツ島や立山連峰、佐渡ヶ島が眺められる。イギリス人技師設計で、フランス製不動レンズを使用したドーム型灯台。記念額に菊の御紋章がつけられている。道の駅のある駐車場からは、徒歩で15分程度の高台にある。

珠洲市狼煙町イ-51



[大納言の間]



B 上時国家 (MAP/P.38 B-1)

上時国家は、「平家にあらずんば人にあらず」の言葉で知られる平時忠の末裔で、幕府領の大庄屋をつとめた。およそ180年前に建造され、完成までに28年を要した上時国家住宅は、北陸地方最大級の規模を有している。手の込んだ室内の造作や座敷飾りと、土間廻りの豪壮な梁組は、江戸末期の民家の一つの到達点を示す。玄関は唐破風、総けやき造り、大納言の間は縁金折上格天井の書院造り。庭園は鎌倉時代の様式とされ、平庭には心字池を配し、また高庭は自然の地形を巧みに利用した独特の作風である。

輪島市町野町南時國13-4 TEL / 0768-32-0171 8:30~17:30(10月~6月は17:00まで)、年中無休、大人500円
建築年 / 1831年頃 構造形式 / 木造平屋建・茅葺き

Model Route



Noto

能登

奥能登

豊穡な歴史を明かす
建物たちと対話する



能登半島のノスタルジックな風景の中、勇壮な佇まいを今に伝える豪華な建物たちが待つ。海が物流の中心だった江戸時代、能登半島は交通の重要拠点となり、北前船と称された船を操り、栄華を極めた。たとえばおよそ180年前に建てられたと推測される上時国家は、入母屋造りで大きな茅葺屋根を持ち、奥能登にあった幕府領の大庄屋をつとめた。また、時國家は、樹齢800年の椎の大林を借景にした池泉回遊式庭園を有する。あるいは大本山總持寺祖院はかつて全国にその末寺16000余を数えるほどの隆盛を誇り、17棟の建物が国の登録文化財とされている。そう、二ツボンの原風景が残る半島の先端では、富を背景にした歴史と文化を、建築を通じてまざまざと感ずることができ。





重要伝統的建造物群保存地区

F 加賀橋立地区・北前船の里資料館 (MAP/P.42 A-3)

北前船の船主や船頭が居住した集落。外壁は船板を再利用するなど特徴的。

加賀市橋立町 <北前船の里資料館> 加賀市橋立町イ乙1-1 TEL/0761-75-1250 9:00~17:00 (入館は16:30まで)・年中無休・一般310円
建築年/主屋:1876年、シンザキ:1921年
構造形式/木造2階建、棧瓦葺



重要伝統的建造物群保存地区

E 加賀東谷地区 (MAP/P.42 B-5)

近世から昭和初期にかけて炭焼きを主産業とした、荒谷、今立、大土、杉木の山間4集落。大きな切妻造の屋根に煙出しを設け赤瓦で葺いた農家群が、自然物と一体となって得着的な景観を形成する。

加賀市山中温泉荒谷町、今立町、大土町、杉水町



川崎清

A 石川県こまつ芸術劇場うらら (MAP/P.42 C-2)

地域の伝統芸能である歌舞伎を本格的に上演できるホール。南加賀地域の伝統工芸品である山中塗や九谷焼などが壁面壁紙や客席手摺、壁面タイル等として随所に使用されている。

小松市土居原町710 TEL/0761-20-5500
水曜(祝日の場合は翌日)及び年末年始(12/29~1/3)及び設備保守等で臨時休館有

設計/川崎清+環境・建築研究所 建築年/2003年
延床面積/7,881.46㎡ 構造形式/鉄骨・鉄筋コンクリート造(地上4階・地下1階)



黒川紀章

B 小松市立本陣記念美術館 (MAP/P.42 C-2)

故・本陣基一氏(元・北國銀行頭取)が収集した美術品を展示・収蔵する施設。円筒の一部を切り割ったようなユニークな形状の建物であるが、江戸時代の蔵を現代風にアレンジしたといわれている。

小松市丸の内公園町19 TEL/0761-22-3384
9:00~17:00(入館は16:30まで)・月曜及び祝日の翌日及び展示替え期間及び年末年始(12/29~1/3)休み、一般300円

設計/黒川紀章 建築年/1990年
延床面積/614.99㎡ 構造形式/鉄筋コンクリート造(地上2階)

C 能美市立九谷焼美術館(浅蔵五十吉美術館) (MAP/P.42 C-2)

現代九谷に鮮烈な息吹を吹き込んだ傑作を、洗練された池原義郎建築の中で堪能できる。
(詳しくはP.27へ)

a 加賀温泉郷/片山津温泉 (MAP/P.42 B-3)

柴山湯を借景にして湖畔に温泉旅館が建ち並ぶ。高く噴き上がる噴水やライトアップされる浮御堂などが楽しめる。

片山津温泉観光協会 加賀市片山津町771/0761-74-1123

b 加賀温泉郷/粟津温泉 (MAP/P.42 C-3)

北陸最古の温泉であり、恋人の聖地でもある。宿はすべて自家掘り温泉で天然の有効成分たっぷり。

粟津温泉観光協会 小松市井口町ホ59-9/0761-65-1834

Break time

「中谷宇吉郎 雪の科学館」の建築を愉しむヒント

設計者は磯崎新氏。アプローチから柴山湯まで一直線に配された導線に、高低差を施し変化に富んだ景観美を演出。階段を使わずスロープにすることで、視線を景観に集中させる細やかな配慮にも注目。併設のカフェにある磯崎新氏デザインのモノローチェアの座り心地も楽しもう。



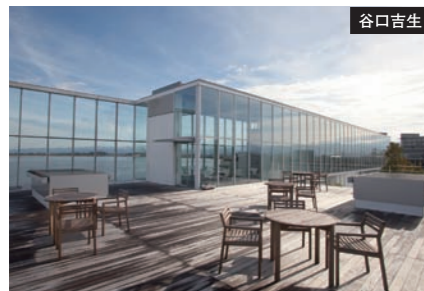
柴山湯と白山、中谷宇吉郎が見た美しい風景をどう見せるかがこの建築のテーマでしょう。台地を作って隠す演出を施し、地下に潜って雪の世界へ誘う。展示室から一步外へ踏み出ると水辺に浮かぶガラスのキューブ。考えぬかれた世界観の演出が実に凄い。

光があることで上を見る。雪をテーマにした建物であることを強く意識され、トップライトに相当この立方体を感じられます。また、雪の結晶をイメージさせる六角形、繊細さ、淡い光などの演出を様々な工夫の中で表現しているのが素晴らしいですね。

磯崎新 ポストモダン建築を牽引し、日本の現代建築を世界的なレベルに押し上げた建築家。つくばセンタービル(茨城県/1983年)、ロサンゼルス現代美術館(アメリカ/1986年)

柴山湯越しに眺める白山(雪の科学館にて)

H 加賀片山津温泉 街湯 (MAP/P.42 B-3)



谷口吉生

温泉文化を継承しつつ、市民と観光客が交流できる、現代にふさわしい温泉施設。外観のほとんどがガラス張り透明感のある建物は、柴山湯、空、森などの周辺の自然に溶け込む。浴室は、前面に広がる柴山湯の水面と浴槽のお湯が連続し、あたたか湯に浸っているような幻想的な感覚を楽しめる「湯の湯」と、樹木に囲まれた緑豊かな景色による季節の移ろいを感じ取ることができる「森の湯」がある。2階にはカフェがあり、テラス席からは美しい柴山湯の眺望が楽しめる。

加賀市片山津温泉乙65-2 TEL/0761-74-0550
6:00~22:00・年中無休・大人(12歳以上)420円
設計/谷口吉生 建築年/2012年 延床面積/1,079.69㎡
構造形式/鉄筋コンクリート造・鉄骨造、地上2階地下2階建



小松市那谷町122 TEL/0761-65-2111
夏季3/1~8:30~16:45、冬季12/1~8:45~16:30・年中無休・中学生以上600円
設計/山上善右衛門 建築年/本堂、三重塔、護摩堂、鐘楼:1642年、書院及び庫裏:1635年
構造形式/本堂、三重塔、護摩堂・禅宗様(唐様)、鐘楼・和様



山上善右衛門

本殿は岩窟内にあるため、屋根を造らず軒先もない。京都の清水寺の舞台と同じ工夫で床を造り上げている。また三重塔は建ち縁を設けず中央間が広く、とても美しいフォルムです。初層の四面には唐獅子の彫刻が施され細部まで楽しめます。

建築家 谷重義行の視点に学ぶ

山門をくぐってからの世界観へ見事に導かれるのが那谷寺です。参道を進むと庭、本殿、三重塔、護摩堂、鐘楼がテーマパークのように楽しませてくれます。この地形をうまく捉え、広大な空間を巧みに作り上げていることに感心します。



D 那谷寺 (MAP/P.42 B-4)

奈良時代に泰澄法師によって開祖された歴史ある寺院。3代加賀藩主 前田利常が山上善右衛門らに岩窟内の本殿、拝殿、唐門、三重塔、護摩堂、鐘楼、書院などを造営させた。山門から参道に従って奥に進むと、深山幽谷の中に本堂、三重塔、護摩堂、鐘楼などが見え隠れし、まさに山水画の世界が展開される。本堂は、大悲閣と呼ばれ、拝殿・唐門・本殿の3棟から成る。特徴ある本殿は岩壁の中腹の岩屋の中に建っているため、その前の狭い敷地に岩屋の高さまで、京都の清水寺の舞台と同じ工夫で床を造り上げている。建物以外にも、庭園は松尾芭蕉が奥の細道で「石山の 石より白し 秋の風」と詠んだだけあって、「奇岩遊仙境」の美しい姿に圧倒される。

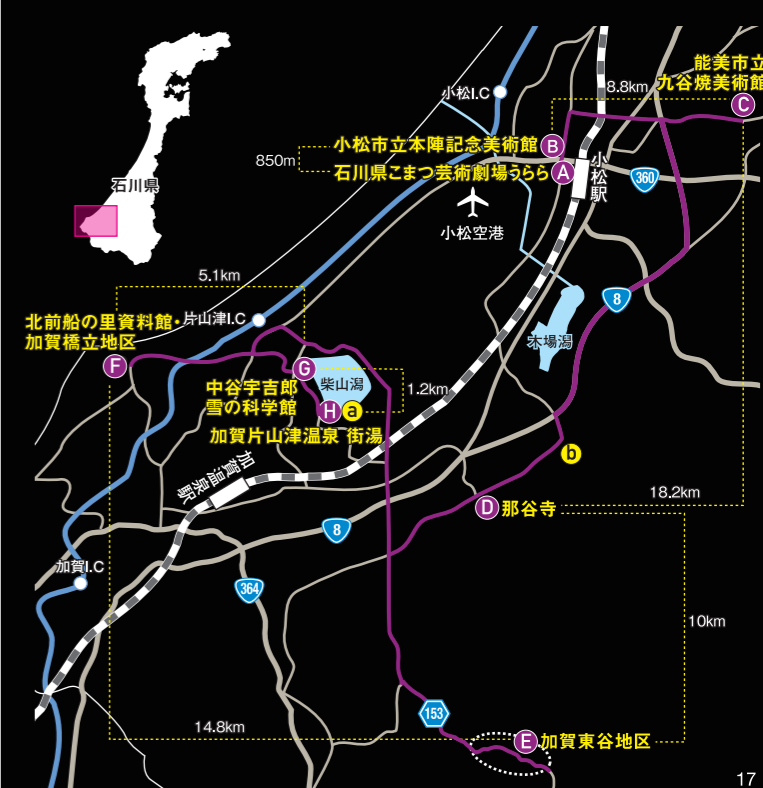
Model Route

5

白山と対峙する名建築たち

那谷寺×中谷宇吉郎 雪の科学館

白く目映い雲峰を遠くに眺め、4つの温泉地を抱く加賀。百万石の文化の香りをのぞかせながら、癒しでもてなし、モノづくりの文化を育んできた。総湯(共同浴場)を中心に広がるように温泉宿などが建ち並び、温泉地の原風景が残る山代。峡谷に寄り添って情緒あふれる温泉街を形成する山中。美しい柴山湯の湖畔に温泉宿などが建ち並び、片山津。北陸では最も古く奈良時代から続くことされる粟津。それぞれ異なる魅力を放つ温泉街は、その温泉情緒の中にモダンな建築も取り込みながら、新しさや歴史情緒を調和させる。総湯めぐりをするだけで、一つの建築旅と言えよう。





瀧 光夫

D 石川県農林総合研究センター林業試験場
(MAP/P.41 D-2)

1階には林業試験場の研究成果、木材、民具などの展示と多目的室があり、2階には石川県の地形模型、巨樹の写真などの展示スペースに加え、休憩室がある。展示室は三角屋根の等高線に合わせ、平面は正三角形。平屋状の2階レベルから入り、谷にせり出した斜路で下階へ下り、傾斜地に建つ土木擁壁なしの建築。自然素材を内装・外装に多用し、山あいの周辺環境に馴染むとともに、建物自体が林産材の展示物となっているのも特徴。周囲の樹林越しに遠山や谷川などの林業地の様子が見える。

白山市三宮町本1 TEL / 076-272-0673 9:30~16:30、11月~3月下旬休み、入館無料
設計 / 瀧光夫 建築年 / 1982年 延床面積 / 1,101㎡ 構造形式 / 鉄筋コンクリート造+鉄骨造



C 白山比咩神社 (MAP/P.41 D-2)

奈良時代以前の創建と言われ、白山信仰の加賀地方における最大拠点である。社の全盛期の頃には、本殿、拜殿のほか40を超える堂塔が配されていたという。本殿は江戸時代中期の地方大社の貴重な遺構としての価値が極めて高い。また宝物館では、室町時代中期の絹本著色白山三社神像を始め、多数の国重要文化財など一級品の宝物を見学できる。

白山市三宮町二105-1 TEL / 076-272-0680
※宝物館 4月~10月9:00~16:00、11月9:30~15:30(12月から3月まで休館・大人300円)
建築年 / 1770年(推定) 構造形式 / 本殿:三間社流造

Break time

b 雪だるまカフェ (MAP/P.41 D-5)

典型的な白峰型住宅の特長を兼ね備えた古民家を改装したカフェ。名物である「おろしうどん」や「ばたもち」などの飲食ができ、手作りの雪だるまキーホルダーや絵はがきなどが販売される。

白山市白峰175 白峰雪だるまの里 内 /
TEL:076-259-2071 / 営業日は4月~11月(火曜日は定休日) / 10:00~16:00



重要伝統的建造物群保存地区

E 白峰地区・石川県立白山ろく民俗資料館 (MAP/P.41 D-5)

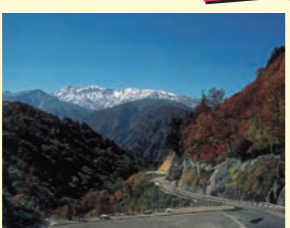
山間部の狭い敷地に形成された特色ある集落構成、「町場」的な街路景観といった特徴をもち、豪雪という気候風土や養蚕という生業に即して発展成立した地方色豊かな建造物群が残る。近接して、歴史・考古・民俗・信仰などの文化遺産を保存・展示し、後世に継承している白山ろく民俗資料館がある。国指定重要文化財である旧小倉家をはじめ、旧杉原家、旧織田家など移築されている全6棟の伝統的の家屋はすべて文化財指定を受けており、内部見学が可能。季節ごとに体験イベントも開催され、昔の白山麓の人々の暮らしを体験することができる。

<白山ろく民俗資料館> 白山市白峰130 TEL / 076-259-2665
9:00~16:30まで(入場は16:00まで)、木曜休み(祝日の場合は翌日休館)、冬期休館(12月11日~3月9日)、一般250円
建築年 / 1979年 延床面積 / 敷地面積17,451㎡

C 白山スーパー林道 (MAP/P.41 E-4)

白山麓と岐阜県の白川郷を結ぶ総延長33.3kmの有料道路。原生林の樹海を眺望しながらのドライブは爽快そのもの。姥ヶ滝やふくべの大滝、三方岩岳など自然が創り出した造形美も堪能できる。

石川県石川郡尾口村~岐阜県大野郡白川村場谷 /
供用期間・時間:7:00~18:00(6月~8月)、8:00~17:00(9月~11月) / 通行料金:片道3,150円、往復4,890円



A 喜多家住宅
(MAP/P.41 D-1)

金沢町家の典型的な建物として国の重要文化財に指定されている。外観は非常に大きい間口を持ち、ゆるい勾配の屋根の下には、深い軒の出を支える腕木や両側の袖壁を備える。また軒先には風返し、下屋の軒下には霧除け庇があり、玄関には潜り戸を付けた大戸、ミセの間の外面にはキムシコ(格子)を入れるなど、伝統的町家の旧態をよく保っている。見どころは内部の通り庭(土間)とオエ(板張りの広間)。通り庭とオエの間には間仕切りを設けず、一体となった大きな空間になっており、上部は吹き抜けで大きな梁組が洗練された意匠をつくっている。また、土縁を付けた座敷・茶室と庭園との取り合わせも見事である。

野々市市本町3-8-10 TEL / 076-248-1131
9:00~16:00、年中無休、大人400円
建築年 / 1804~1830年頃 構造形式 / 木造2階建、瓦葺



瀧 光夫

B 石川県ふれあい昆虫館 (MAP/P.41 D-2)

日本海側最大規模の昆虫館。特に「チョウの園」は一年中常夏の楽園。350㎡の大きな温室に約10種、1,000匹のチョウが飛び交っており、亜熱帯の自然を探索するような動線で子どもたちを楽しませる。2階展示スペースからは温室を俯瞰したり、温室越しに外部の風景が見える等、重層的借景の設計手法が用いられている。

白山市八幡町成3 TEL / 076-272-3417
9:30~17:00(11月~3月は16:30まで、火曜(祝日の場合はその日以降の最初の平日)及び12/29~1/1休み、一般400円
設計 / 瀧光夫 建築・都市設計事務所 建築年 / 1998年 延床面積 / 2,719.85㎡

Break time

a 獅子吼高原 (MAP/P.41 D-2)

標高649mの後高山から獅子吼平にかけて広がる高原。ゴンドラに乗って山頂へ行くと、手取川扇状地と日本海が一望できる。パラグライダーが浮遊する景色はまさに絶景と呼ぶに相応しい。

白山市八幡町 / 076-272-0600(パーク獅子吼) / 10:00~17:00(季節によって変わります) / ゴンドラ料金(往復)1,000円



Model Route



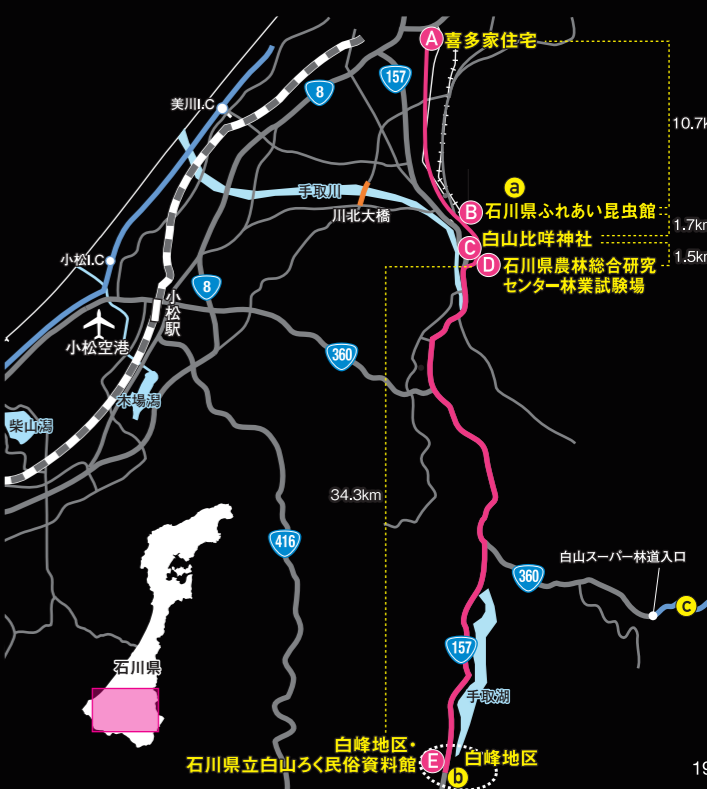
Hakusan

白山

美しい風景と出会う
静謐な森の中で、



富士山、立山と共に日本三名山のひとつに数えられ、古くから白山信仰の聖地として仰がれてきた白山。面積49900haにも及ぶ白山国立公園としてユネスコの生物圏保存地域に指定されるなど、その自然環境は国際的にも評価が高い。そんな白山に抱かれた暮らした中から、独自の風土と美意識が、たとえば重伝建地区に認定された白峰地区などに生まれていく。豪雪地帯で稲作は殆ど行われず、江戸から明治期には全国有数の養蚕の生産を誇り、巨大家族が軒を連ねた。大梯子を屋根に指しかけた独特の景観は、霊峰白山の見事な自然と融合し、建築ファンのみならず多くの旅人の心を和ませる特別な空間としてますます注目。





B 東香山 大乘寺 (MAP/P.40 B-5)

曹洞宗における永平寺、總持寺の両大本山に並ぶ特別の由緒をもつ寺院。伽藍は曹洞宗寺院建築の典型的な七堂伽藍の配置となっている。仏殿は国指定重要文化財で、江戸時代中期において様々な様式を折衷した禅宗建築の一様式を示す。

金沢市長坂町ル10 TEL/076-241-2680
年中無休、拝観自由
建築年/1600年代初頭～1700年代初頭

C 石川県西田幾多郎哲学館 (MAP/P.40 C-1)

鈴木大拙とは金沢の第四高等学校の同級生にして、ともに偉大な世界的哲学者。ぜひはしごをしたい。(詳しくはP.13へ)

黒と白という真逆の対比を生かした空間づくりも実に巧みです。緊張感のある薄暗い間と展示空間の対比、ホワイトキューブに作られた「思索空間棟」の内と外など、練りに練られたクオリティの高さを実感します。

「鈴木大拙館」の建築を愉しむヒント

設計者は建築専門誌でも美術館づくりの名手と紹介される建築家 谷口吉生氏。禅宗寺院の回廊や庭園を、谷口吉生氏が得意とするモダンな美意識と空間構成で表現した建物が鈴木大拙館だと言えます。金沢の街中には父である谷口吉郎氏の作品も数多く見られ、谷口親子の建築巡りをするのも楽しい。

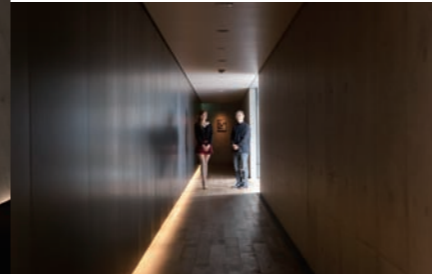


谷口吉生

A 鈴木大拙館 (MAP/P.39 C-5)

金沢市本多町で生まれ、仏教思想、特に禅を研究し、世界にZENの世界を知らしめた鈴木大拙を記念して、2011年に建築された。設計は谷口吉生氏。小立野台地から続く本多の森の斜面緑地を借景とし、金沢を象徴する森、石垣、水辺の景観を巧みかつシンプルに表現し、中心市街地にありながら静寂、歴史を感じさせる環境の中で大拙の世界に触れることができる。建築は「玄関棟」「展示棟」「思索空間棟」の3棟に分かれ、「玄関の庭」「路地の庭」「水鏡の庭」の3つの庭を回遊することによって、建築物を主体に来館者それぞれが鈴木大拙に出遭い、学び、そして考えることが意図されている。

金沢市本多町3-4-20 TEL/076-221-8011
9:30～17:00(入館は16:30まで)、原則毎週月曜及び年末年始休み、一般300円
設計/谷口建築設計研究所 谷口吉生 建築年/2011年 延床面積/631.63㎡ 構造形式/鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建



シンプルな線と面と面とで美しさを極める谷口吉生氏の建築は、逃げられない、ごまかしが効かない。縦目一つも見せない徹底した作り込みは他では真似のできない名人技。

石川高専准教授 熊澤栄二の視点に学ぶ

「色不異空」の意を持つ○△□が建物に取り込まれていたりと、借景とする金沢のあるがままの森を「水鏡の庭」に映し込むなど、鈴木大拙の思想と谷口吉生氏の設計が見事に融合しています。



Model Route

あるがまま、
禅の歴史を紐解く旅

大本山總持寺祖院×鈴木大拙館

Zen
禅



朝廷の祈願寺となり、ますますその権威を高めていく。その途次、輪島市にあった諸岡寺を寄進されたことを機に、それを禅院化して總持寺と改めた。總持寺が開かれて数年後、峨山禪師が2代目永光寺・總持寺の両寺の住職を兼ねることになる。峨山禪師は永光寺で早朝の勤めをした後、暗がりの中を約52km離れた總持寺まで山道を越えて行き、總持寺でもまた朝の勤めを果たした。この道は「峨山道」と名付けられ、今も語り継がれている。

豊財院は、その慎ましやかな佇まいにもかかわらず、その宝物館を訪ねれば、日本最古の馬頭観音立像をはじめ、3体もの国の重要文化財に指定された立像が並ぶ。永光寺はまさに文化財の宝庫である。重要文化財に指定されるものは彫刻、絵画、書籍、工芸品など20点を遥かに超える。素人目にはまず山岡鉄舟の襖書に心を奪われる。そして大本山總持寺祖院。一時は、全国に末寺16000余りを数えたこの寺には各地から修行僧が集まり、禅の教えと共に、輪島塗という伝統文化も、広く日本に伝えていった。

禅の聖地「能登半島」

能登半島は禅の聖地の名こそ相応しい。それは道元禪師の法孫にあたる瑩山禪師(1268～1325)の足跡を辿るとよく分かる。瑩山禪師、49歳春のこと、能登半島の羽咋市で寺域の寄進を受ける。翌年には茅葺の家を建てて飯の庫裡が成立した。飯の庫裡は現在の豊財院となり、この時建立されたのが永光寺である。次第に永光寺の伽藍は整備され、南北朝時代には後醍醐天皇の帰依があり、1479年には

D 豊財院 (MAP/P.38 A-5)

約700年前、大本山總持寺の開山 瑩山禪師によって能登初の禅庵として開創された。宝物館には、国の重要文化財に指定されている3体の仏像と、血で写経した大般若経600巻が納められている。

羽咋市白瀬町ル8 TEL/0767-26-1065
9:00～17:00、不定休、大人300円
建築年/1312年



E 洞谷山 永光寺 (MAP/P.38 A-5)

曹洞宗発展史上最も重要な地位を占める古刹。現在の建物は寛永(1624-1645年)以後の再興で、その伽藍は曹洞宗寺院の源流のひとつとして「永光寺式」とも呼ばれている。法堂には山岡鉄舟作の見事な襖書など見所も多い。

羽咋市酒井町イ部11番 TEL/0767-26-0156
9:00～17:00、年中無休、大人300円
構造形式/木造



a 神音カフェ (MAP/P.38 A-5)

ローマ法王にお米を献上したことで知られる神子原に佇む古民家カフェ。見事な檜の空が吊るされた築70年の建物は、風格と安らぎを兼ね備えた居心地の良い空間。自家焙煎した豆でいれるコーヒーのほか、地元野菜や米を使ったカレーも人気。

羽咋市雷池町カ54/TEL:0767-26-1128/11:30～17:30/定休日:火・日曜日

Break time

大本山總持寺祖院の魅力は建物のスケール感。奥能登にあってこれほど大きな建築物があることが感慨深い。仏殿には山岡鉄舟が大書した襖書が、奥行きのある広い空間の中で見事に主張しているのも良いですね。

金沢工大教授 中森 勉の視点に学ぶ

経蔵は明治の大火の難を逃れた建造物で1743年の創建。山門の手前であって見逃しがちですが、唐様建築に用いられる海老虹梁など見所も多い歴史建築です。



F 大本山總持寺祖院 (MAP/P.38 A-2)

1321年、瑩山紹瑾禪師によって開創。鎌倉時代より歴代領主の手厚い庇護を受け、1615年には總持寺は永平寺と共に曹洞宗の大本山として江戸幕府が認め、徳川家康から1000両が寄付され幕府の祈願所となった。明治の大火により多くの堂宇が消失し、横浜鶴見への移転に伴い總持寺祖院となった。焼失を免れた伝燈院、経蔵、慈雲閣のほか、再建された七堂伽藍は山水古木と調和し、風光幽玄な曹洞宗大本山の面影をのびせ、一大聖地となっている。

輪島市前町門前1-18-1 TEL/0768-42-0005 8:00～17:00、年中無休、大人400円
建築年/1321年 構造形式/木造

「大本山總持寺祖院」の建築を愉しむヒント

明治の大火で焼失を免れたのは経蔵、伝燈院、慈雲閣など。空、無想、無作の三解脱に入るという意味から「三門」とも呼ばれている再建された壮大な山門は、入母屋造りの優美な姿もあわせ持つ。時代を超えた寺院建築の匠の技術を見比べて歩くのも楽しい。

Break time

b 輪島市柳比の庄 禅の里交流館 (MAP/P.38 A-2)

大本山總持寺祖院の歴史や修行の様子を、パネルや映像でわかりやすく紹介する施設。貴重な歴史的資料も多数展示され、知的好奇心を十分に満たしてくれる。

輪島市前町可走6-10/TEL:0768-42-3550/9:00～17:00/定休日:月曜日/入館料300円



<夕顔亭> ※見学は外観のみ、内部は非公開
 金沢市兼六町1 TEL / 076-234-3800
 3/1~10/15は7:00~18:00(退園時間)、
 10/16~2/末は8:00~17:00(退園時間)、
 年中無休。(兼六園入園料)大人300円
 建築年/1774年

千利休の高弟・古田織部好みの茶室とされますが、縁をめぐらして壁の少ない開放的な造りに仕上げするなど、瀧見の茶屋としての工夫が見事です。



[夕顔亭]



[時雨亭]

D 兼六園 夕顔亭・時雨亭 (MAP/P.39 C-4)

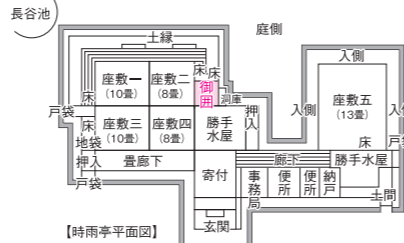
兼六園のはじまりは、5代加賀藩主 前田綱紀が1676年に作事所(藩政において建築や営繕を担当する機関)を城内に移転し、跡地に別荘を建て、その周辺を庭園化させたことに遡る。兼六園発祥の地である蓮池庭には、かつては4つの御亭(数寄屋)が置かれたとされているが、現存するのは夕顔亭のみとなる。夕顔亭は、11代加賀藩主前田治脩が1774年に建造した数寄屋で、瀧見のための茶亭にふさわしく、瀟洒な縁側の構成が特徴である。一方、時雨亭は2000年になって、長谷池のそばに新しい庭園とともに再現されたものである。庭側の10畳と8畳、それに続く「御田」は藩政時代の平面図より復元され、茶会や庭を眺めながら休憩できる場所として県民や観光客に幅広く利用されている。

<時雨亭>金沢市兼六町1 TEL / 076-232-8841
 9:00~16:30(最終入亭16:00)、年末年始休み。(兼六園入園料)大人300円
 建築年/2000年 延床面積/約270㎡ 構造形式/木造平屋建、柿葺

庭を見せるための工夫において、長谷池との配置バランス、「ズレ」の創り方はお見事。長く奥行きのある縁側は実に気持ちのいい空間に仕上がっています。

建築家 平口泰夫の視点に学ぶ

時雨亭はもともと5代藩主綱紀により現在の噴水の前に建てられた。現在の時雨亭の庭側の10畳と8畳、それに続く「御田」は平面図より復元されたもの。「御田」は「一畳台目」という極小に見所がありますね。



A 月心寺 (MAP/P.39 C-1)

茶の湯を通じ前田利常公に使えた茶道裏千家の祖仙叟宗室の墓や歌碑、楽家4代一入の弟子土師長左衛門後の大樋焼大樋長左衛門代々が葬られている。仙叟宗室追善の茶会が毎月23日に催される。

金沢市山の上町1-43 TEL / 076-251-0492
 拝観自由
 構造形式/木造



B 大樋美術館 / 十代大樋長左衛門窯 (MAP/P.39 C-2)

茶道と密接な関係を持ち350年の伝統を誇る大樋焼の作品を歴代で展示する。ギャラリーでは十代長左衛門氏(文化勲章受章)と長男雄氏の作品を展示販売している。

金沢市橋場町2-17 TEL / 076-221-2397
 9:00~17:00、年中無休、一般700円



C 寺島蔵人邸 (MAP/P.39 C-3)

現存する主屋、土蔵、土堀と回遊庭園は、当時の中級武家屋敷の旧態を現在に良く伝えている。茶室から望める池泉回遊式の庭園が魅力的。

金沢市大手町10-3 TEL / 076-224-2789
 9:30~17:00(入館は16:30まで)、12/29~1/3及び展示資料整理期間休み、一般300円
 建築年/1777年
 構造形式/木造2階建 切妻造・平入

兼六園 時雨亭×江沼神社 長流亭
 美に浸り、
 静寂の茶をめぐる

Model Route



Cha
 茶



H 江沼神社 長流亭 (MAP/P.42 A-4)

3代大聖寺藩主 前田利直が、1709年に旧大聖寺藩邸の庭園の一隅、大聖寺川が望める位置に建てた数寄屋造りの別邸。江戸時代中期の特色をもった優秀な遺構である。間取りは、中央2室を座敷とし、その四方を1間幅の縁側のような空間で囲んでいる。欄間の意匠は変形花菱模様で、大柄で彫りも厚く、威風堂々たる気風と高い技術力をうかがい知ることができる。佻びと雅が融合した大胆な意匠と、細部にまでこだわり入念に施された装飾は江戸期の加賀・大聖寺両藩の文化水準と工芸技術の高さを現代に伝える。

加賀市大聖寺八間道55 TEL / 0761-72-0551
 長流亭:(3月~10月)9:00~16:00 (11月~2月)9:00~15:00、長流亭:年末年始休み(12/29~1/3)、祭礼時は見学不可、神社・庭園:拝観無料、長流亭:400円
 建築年/1709年(長流亭)



建築の用途は藩主の夏場の避暑地別荘。建物の周囲を流れる水、川に迫り出して釣りを直接楽しめる廊下、一畳幅の回廊が口の字形に巡り風を通す工夫、当時白山を遠望したとされる立地など、夏の住まいを見事に体現した建築です。

建築家 平口泰夫の視点に学ぶ

この建築には小堀遠州の影響を強く感じます。小堀遠州が好んだモチーフ「七宝紋」が板戸や畳縁などにちりばめられているところに注目です。また開き戸をはじめとしたモダンな装飾など、小堀遠州が生み出す綺麗さの表現は、キリスト教宣教師が伝えた西欧意匠に発端があることを物語っていて興味深い。

G 魯山人寓居跡 いろは草庵 (MAP/P.42 B-4)

1915年に2ヶ月ほど北大路魯山人が滞在し、この建物を住居兼作業場とした。主屋は魯山人滞在当时の風情を現在に伝え、土蔵は内部を改装し展示室としている。

加賀市山代温泉18-5 TEL / 0761-77-7111 9:00~17:00(入館は16:30まで)、水曜(祝日は除く)休み、一般500円
 建築年/明治初期 構造形式/木造2階建、瓦葺き 延床面積/224㎡



E 金沢市立中村記念美術館 梅庵 (MAP/P.39 B-4)

本多の森を成す緑豊かな斜面を背景とし、本館、別館田中村邸、耕雲庵と梅庵の2つの茶室から成る。梅庵は1965年に新築されたもので、8畳の間は舟底天井など裏千家の茶室様式を取り入れた造りとなっている。

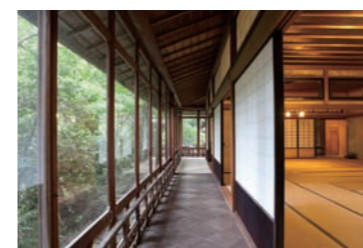
金沢市本多町3-2-29 TEL / 076-221-0751
 9:30~17:00(受付は16:30まで)、12/29~1/3及び展示替え期間休み、一般300円、茶室見学無料(展示替期間も可)
 建築年/本館:1989年 構造形式/本館:鉄筋コンクリート造、その他木造

Break time

a 加賀温泉郷/山中温泉 (MAP/P.42 B-5)

伝統芸能にふれることができる「山中座」をはじめとした観光スポットを見たり溪流を散策したりと、1時間程で巡る事ができるほどよい大きさの温泉街。

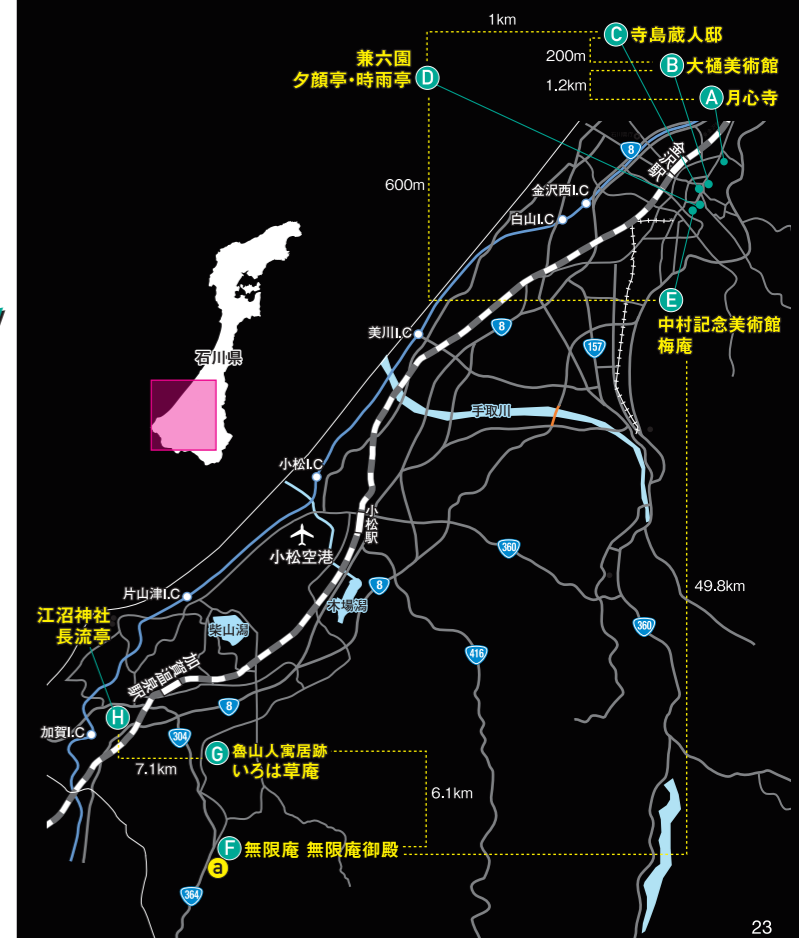
山中温泉観光協会・山中温泉旅館協同組合
 加賀市山中温泉西桂木町5-1 / TEL.0761-78-0330



F 無限庵 無限庵御殿 (MAP/P.42 B-5)

利休ゆかりの茶道具など、数々の古美術品を展示。無限庵御殿の書院は、格式と豪華さを持ちつつ、平明さを目指した構成であり、さらに自由な数寄の意匠を透かしているなど、近代書院の好例。また木造技術としても当時最高の粋を集めた普請であった。

加賀市山中温泉下谷町口-6 TEL / 0761-78-0160
 8:30~18:00まで(入館は17:00まで)、年末年始休み、一般500円
 建築年/1912年(推定)、1921年移築





「懷華樓」



重要伝統的建造物群保存地区

A ひがし茶屋街
志摩・懷華樓
(MAP/P.39 C-2)

加賀藩の許可を受けて「ひがし」の茶屋町が創設されたのは1820年。茶屋町創設時の敷地割をよく残すとともに、今日では全国でも希少な意匠的に優れた茶屋様式の伝統的建造物が京都祇園とともに多数残る。当地区内の建築物140棟のうち約3分の2が伝統的建造物で、茶屋町創設時から明治初期に建設されたものが多く残り、その約9割が茶屋様式の町家である。茶屋建築は2階建て、1階正面に華やかな弁柄塗の出格子を付け、2階には雨戸を設置するという共通点があり、それらの建物が連続して織りなす町並み景観は、きわめて繊細で、金沢独特の文化の香りを感じさせる。茶屋建築は2階が接客空間となることから、総じて2階の軒高が高く、2階の通り側にも縁側が設けられている。

金沢市東山1

【志摩】



＜志摩＞
金沢市東山1丁目13-21
TEL / 076-252-5675
9:00～18:00、年中無休、一般400円
建築年 / 1820年
構造形式 / 木造2階建(一部3階)、切妻造、棧瓦葺の茶屋建築

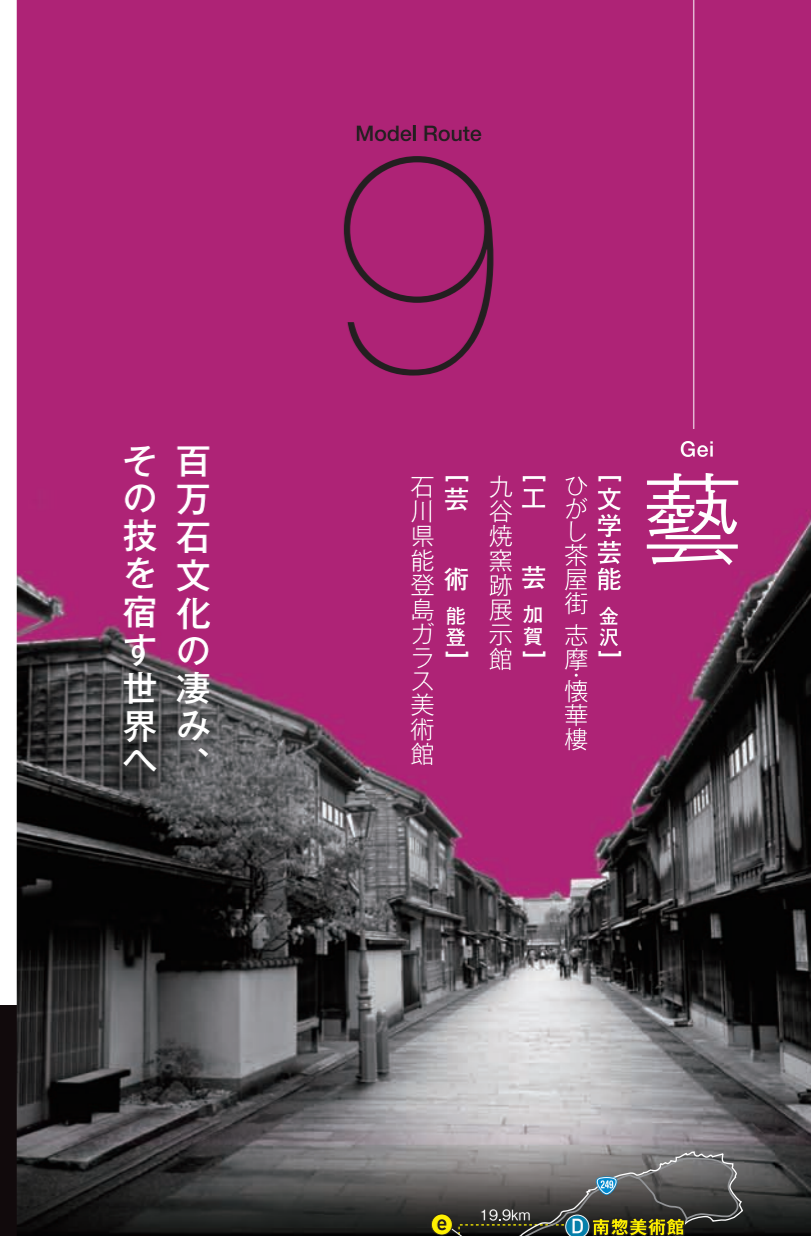
石川高専准教授
熊澤栄二の
視点に学ぶ

＜懷華樓＞
金沢市東山11-14-8
TEL / 076-253-0591
9:00～17:00、年中無休、一般700円
建築年 / 江戸時代後期
構造形式 / 茶屋建築、木造2階建、切妻、平入、棧瓦葺

京都の町家と比べても柱は細くて繊細です。金沢らしさをじっくりと体感できることもこの建築の魅力ですね。ひがし茶屋街全体の景観と空気感も取り込んで、とても素敵な時間を過ごすことができます。

畳縁の艶ある色、室内に置かれた調度品、建物の繋ぎ目に至るまで実に芸が細かくともキレイです。色の移り方なども良く計算されたところにも、「フォーマル×遊び心」が極めて高いレベルで仕上げられた建築です。

落ち着いた風情ある通りから入り、ひとたび暖簾をくぐると存在感の強い朱塗りの階段が有無を言わずこの建物の印象を作り上げます。2階がメインのお茶屋だからこその上手い魅せ方がされています。



百万石文化の凄み、
その技を宿す世界へ

Model Route



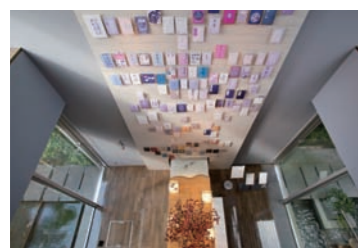
- 「文学芸能 金沢」
- ひがし茶屋街 志摩・懷華樓
- 「工芸 加賀」
- 九谷焼窯跡展示館
- 「芸術 能登」
- 石川県能登島ガラス美術館

Gei
藝

文学と芸能の街「金沢」

街の中に浅野川と屋川、2本の川の流れが瑞々しく、艶やかな風情を醸し、それぞれに古の趣を遺した茶屋街が寄り添う。その風景はあまりに文学的であり、事実、金沢三文豪と称される偉大な文人をこの地に育んだ。徳田秋聲は浅野川近くで生を受け、明治期の自然主義文学運動の中心的存在として活躍した。卯辰山の展望台に築かれた秋聲の文学碑には、川端康成が彼を評した一言が刻まれている。「日本の小説は源氏にはじまって西鶴に飛び、西鶴から秋聲に飛ぶ」。生活は困窮し、浅野川周辺を転々と移り住んだという秋聲。彼の目にした庶民の暮らしは、リアルな筆致で人々の心に響く小説となっていた。

成が彼を評した一言が刻まれている。「日本の小説は源氏にはじまって西鶴に飛び、西鶴から秋聲に飛ぶ」。生活は困窮し、浅野川周辺を転々と移り住んだという秋聲。彼の目にした庶民の暮らしは、リアルな筆致で人々の心に響く小説となっていた。泉鏡花は浅野川を少し下った尾張町に生まれた。彼が少年時代を過ごした風景は「暗がり坂」と呼ばれる石段。その先の細い路地が入り組んだ主計町。繊細で美しく、時に幻想的でもある鏡花の作品は約300編に及び、うち金沢を舞台とするのは50編を数える。室生犀星は屋川大橋の袂にある雨宝院で、不遇とも言える少年時代を過ごした。犀星は、たびたび屋川を詩に詠み、小説に描いた。不遇な出生をのりこえて描かれた犀星文学は、故郷の山河に対する思いや、弱いものへの慈しみの心に溢れている。情緒的な自然景観と艶のある街並み。有名観光地としての顔を持ちながら、人の暮らしと独自の文化を貫く精神性は、アーキテクチャーツリズムにも通じている。



H 室生犀星記念館 (MAP/P.39 A-4)
敷地は犀星生誕地跡。内部は湧水の池の中庭を巡る展示室への通路、中庭で視覚的に連続した裏庭、吹抜空間など、小規模な建物にも関わらず、三次元的な変化が魅力的な空間を創り出している。
金沢市千日町3-22 TEL / 076-245-1108
9:30～17:00(入館は16:30まで)、12/29～1/3及び展示替え期間休み、一般300円

室生犀星(1889-1962)。北原白秋に認められ詩壇に登場。萩原朔太郎らと交流を結び、哀愁孤独をうたう抒情詩人として活躍。のち小説に転じ、自らの苦しい半生を題材に自伝的小説を数多く発表した。



D 泉鏡花記念館 (MAP/P.39 C-2)
敷地は生家跡。新町通りから主計町の茶屋街に至る、金沢の町人文化の雰囲気を感じさせる場所にある。館内では泉鏡花に関する情報をわかりやすく展示。展示品は鏡花の遺品、自筆原稿、鏡花作品の演劇、映画等の資料が中心。
金沢市下新町2-3 TEL / 076-222-1025
9:30～17:00(受付は16:30まで)、12/28～1/3及び展示替え期間休み、一般300円



F 本多の森ホール (MAP/P.39 C-5)
近代ホール建築の代表的なスタイルをカタチにした黒川紀章作品。(詳しくはP.12へ)

E 金沢文芸館 (MAP/P.39 C-2)
簡略化された擬ルネサンス様式の建物。もとは銀行として建築されたものが、金沢の文芸活動の拠点および情報発信基地としてリニューアルされた。
金沢市尾張町11-7-10 TEL / 076-263-2444
10:00～18:00(受付は17:30まで)、火曜(祝祭日の場合は翌日)及び12/29～1/3休み、一般100円
設計 / 清水組 建築年 / 1929年、2005年改修

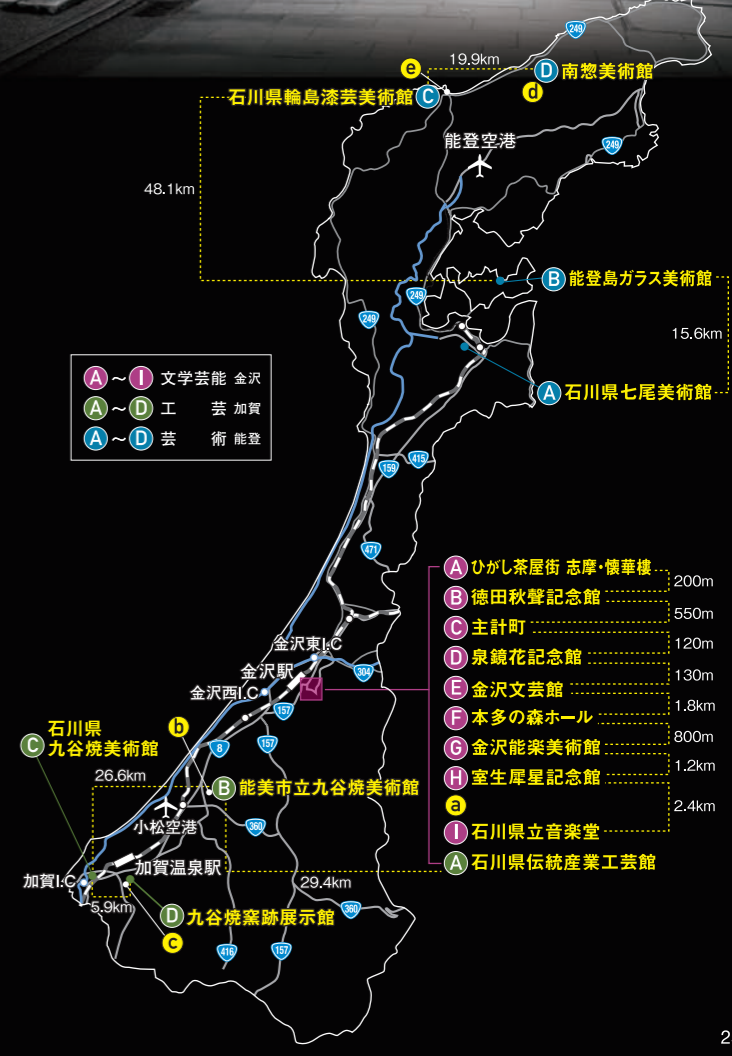
G 金沢能楽美術館 (MAP/P.39 B-4)
金沢市の伝統芸能である加賀室生の貴重な美術品など能楽に関する美術品を集集・展示する。
金沢市広坂1-2-25 TEL / 076-220-2790
10:00～18:00(受付は17:30まで)、毎週月曜(休日の場合は翌日)及び年末年始・展示替え期間休み、個人300円



B 徳田秋聲記念館 (MAP/P.39 C-2)
敷地は秋聲の生誕地近く。秋聲の生い立ちや歩み、直筆原稿や遺品の展示がされているほか、東京に現存する秋声宅の書斎が再現されている。また、代表作に登場する女性を和紙人形と映像で紹介するシアターも設置されている。
金沢市東山1-19-1 TEL / 076-251-4300
9:30～17:00(受付は16:30まで)、12/29～1/3及び展示替え期間休み、一般300円



C 主計町 (MAP/P.39 C-2) 重要伝統的建造物群保存地区
「ひがし」「にし」と並ぶ茶屋街。三階を増築した町家が立ち並ぶ浅野川沿いの景観と、旧来の茶屋の様式を維持した町家が残り、裏の通りの景観により、変化に富んだ歴史的風致がよく残る。町家には軒高の高い2階や1階の出格子といった外観の共通点があり、内部は数寄屋風の繊細な意匠によって構成されるものが多い。
金沢市主計町



Break time
a 三文豪の世界を一気に楽しむ、石川近代文学館 (MAP/P.39 B-4) (石川四高記念文化交流館内)
石川近代文学館は、石川県ゆかりの文学者の著書・遺品・愛蔵品等を一堂に集めた総合文学館。泉鏡花・徳田秋聲・室生犀星の三文豪から現代文学の最前線で活躍する人々たちまで幅広く展示している。(詳しくはP.11へ)



I 石川県立音楽堂 (MAP/P.39 A-1)
コンサートホール、邦楽ホール、交流ホールを備えた施設。藩政時代から石川に永く培われた伝統文化と、オーケストラ・アンサンブル金沢に代表される新しい音楽文化が出会う場。
金沢市昭和町20-1 TEL / 076-232-8111
12/29～1/3休み
設計 / 芦原義信 建築年 / 2001年 延床面積 / 29,753.94㎡ 構造形式 / 鉄骨鉄筋コンクリート造

「能登島ガラス美術館」の建築を愉しむヒント

設計者は毛綱殺蟻氏(1941-2001)。シンプルで美しいことや合理性、機能性と対局に位置し、複雑怪奇な造形を伴った建築作品を数多く手がけた建築家。その作品を楽しむためのキーワードはアンチ・モダニズムとしての「ポスト・モダン」建築。装飾や象徴性を建築に生かし、ユニークな造形の中に美しさを見出す発想力を堪能しよう。

宇宙を感じさせる浮遊感の創り方にも注目ですね。建物の外観は宇宙基地のようなポストモダン建築、中では斜面を利用した奥行き表現や地上と離れた場を意識させる仕掛けが緻密に計算されています。



エントランスからすべてにわたって力が入った見所満載の建物ですから、丁寧に見ていくととても興味深く楽しめます。雲をモチーフにしたオブジェ、設計図が描かれた多数の小窓、九谷焼や輪島塗など地元の伝統工芸を取り込んだ意匠などが実に見事に使われています。

A 石川県七尾美術館 (MAP/P.38 B-4)

能登の芸術文化の中核を担う総合美術館。内井昭蔵氏の設計らしい優しい空間に浸ろう。(詳しくはP.14へ)

B 石川県能登島ガラス美術館 (MAP/P.38 B-3)

1984年ガラス工房が開設、続いて1991年に「新しいガラス工芸の島」の中核となる施設として当館が設立された。各建物の位置や形は風水に由来し、美術館や地域を守り、発展するように願いを込めて設計された。建物に使われているメインとなる素材は、ガラス、コンクリート、木、スチール。細部には石川県の伝統工芸である、漆や九谷焼等も取り入れられている。

七尾市能登島向田町125番10 TEL / 0767-84-1175 9:00~17:00 (12~3月は16:30まで) (入館は開館30分前まで)、8月を除く第3火曜(祝日の場合は翌日)及び12/29~1/1及び展示替え期間休み、高校生以上800円 設計/毛綱殺蟻 建築年 / 1991年 延床面積 / 3,050.17㎡

建築家 漆崎義和の視点に学ぶ



ポストモダンを象徴するような圧倒的に特異な建造物だと思います。たとえば四神相応という風水の思想を取り入れた建物の配置などは面白いですね。ポストモダンを楽しむ、それがこの建築の魅力です。斜塔を含む展示塔を「玄武」、水盤(池)を抱くような展示室を「朱雀」、ミュージアムショップを「白虎」、オブジェを「青龍」として配置。(イメージであるため、実際の方位とは合致していない)



Break time

a 能登島ガラス工房 (MAP/P.38 B-3)

もと小学校の校舎を利用したガラス工房。作家たちの制作風景が見学できるほか、予約すればガラス制作体験も可能。たとえば、とんぼづくり1260円(所要約60分、パーツ別途必要)など。

七尾市能登島向田町122-13 / TEL.0767-84-1180 9:00~17:00 / 年中無休

毛綱殺蟻

ポストモダニズムの旗手のひとり。「阿弥陀から弥勒への七つのメッセージ」という九枚のパネルを発表し、世界的にも有名になった。(代表作) 釧路市立博物館(1984年・日本建築学会賞受賞) / 釧路フィッシャーメンズワーフMOO/EGG(1989年) (石川県内の他作品) 能登・門前ファミリーイン ビュー・サンセット



工芸 加賀

百万石文化と九谷焼

利常の治世に礎が築かれ、網紀の時代になって花開いた百万石文化。網紀の工芸育成策として注目すべき事業が「巨匠比叟」と命名された工芸コレクシオン。江戸時代初期から中期に至る工芸品やその標本・デザインが、現代の美術館の集大成された。しかしここに九谷焼の姿はない。九谷焼のはじまりは江戸時代初期、加賀の支藩だった大聖寺藩の初代藩主 前田利治が命じたものとされている。九谷の窯は1730年ごろに突然閉じられ、百数十年後、古九谷再興という浪漫をもった大聖寺藩の豪商 四代吉田屋伝右衛門によって復興が成し遂げられた。古九谷の再興を目指した吉田屋、春日山窯の木米風、赤絵細描画の宮本窯、金襴手の永楽窯など独自の意匠を競って数多くの窯が出現し、九谷焼は発展を遂げるに至った。九谷焼と本気で触れ合う旅をするなら、そのルーツを辿ってみるのも面白い。

B 能美市立九谷焼美術館(浅蔵五十吉美術館) (MAP/P.42 C-2)

能美市出身の陶芸家 浅蔵五十吉氏の作品を中心に九谷焼の名作を展示。設計は浅蔵氏と親交の深い池原義郎氏が担当。幾何学的要素の強い正三角形のプリズム状の屋根と、それに平行して流れているメインのいくつかの壁、8mを超える天井高の展示室等によって構成されている。力強い個性を感じる。

能美市泉台町南1 TEL / 0761-58-6789 9:00~17:00(受付終了16:30)。月曜日、年末年始(12/29~1/3)休み、大人500円 設計 / 池原義郎 建築年 / 1993年 延床面積 / 624.87㎡ 構造形式 / 鉄筋コンクリート造平屋建、一部鉄骨造

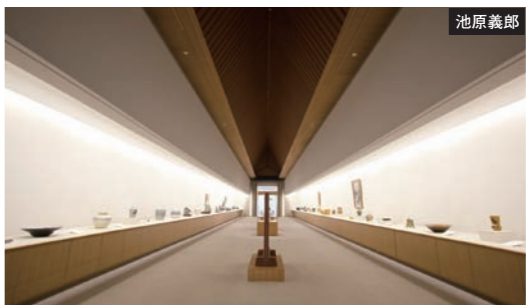
C 石川県九谷焼美術館 (MAP/P.42 A-4)

隣接する「古九谷の杜親水公園」とも調和が取られており、庭園の中の美術館という趣である。内部は、伝統工芸を展示する美術館にふさわしい和のテイストをふんだんに取り入れた空間になっており、茶室も設けられている。

加賀市大聖寺地方町1-10-13 TEL / 0761-72-7466 9:00~17:00(入館は16:30まで)、月曜休み(祝日は除く)、年末年始要問合せ、一般500円 設計 / 象設計集団 建築年 / 2001年 延床面積 / 2,165.30㎡ 構造形式 / 鉄筋コンクリート造2階建



象設計集団



池原義郎



芸術 能登

美を極めた芸術の世界に迫る

かつて加賀・能登には一つの船で千両を稼ぐと言われた北前船が往来した時代があった。北前船は莫大な富をもたらすとともに、江戸時代を代表する美術品の数々をこの地へと届けた。たとえば奥能登にある南物美術館。そこに並ぶ品々は、野々村仁清、俵屋宗達、円山応挙など歴史に残る名人たちの名が並ぶ。北前船は漆器の盛んな輪島の地を芸術的な装飾を手がける匠が息づく街へと変えた。他の漆器産地が鑑や兜などの道具づくりへと進む中、「途に美を追求する美術品の製作が輪島にだけは許された。以来、輪島塗の技法が表現する美しさは海を越えて認知され、アルヌーボ、イタリアを冠する作家たちにも強い影響を与えた。漆黒のツヤが生み出す世界に、沈金・時絵が格調高い華やかな彩りを添える輪島塗。それは世界にも驚きと感動を与え、いつしか漆器は「Japan」を言う国際用語にまでなり、日本を代表する工芸品と認められた。

Break time

e 輪島工房長屋 (MAP/P.38 B-2)



輪島塗の木地づくりから、漆塗り、蒔絵や沈金の各工房が集まった交流施設。体験工房では箸作りや蒔絵体験などが楽しめる。

輪島市河井町4-66-1 / TEL.0768-23-0011 9:00~18:00 / 水曜定休 入館無料

Break time

d オープンカフェ 木の音 (MAP/P.38 B-2)



曾々木海岸から車で約10分、中世日本の原風景を思わせる金蔵の田園風景の中、約600年続く慶願寺の一角を改装したカフェがある。丸窓を配した渡り廊下の空間は、建築旅の寄り道に絶好。

輪島市町野町金蔵123 慶願寺 / 0768-32-0892 / 10:00~17:00 / 水・木曜日定休、12~3月不定休

D 南惣美術館 (MAP/P.38 B-1)

「南惣」は、かつての奥能登大野村の天領庄屋南家の屋号。歴代の当主は、文化の移入を尊び、美術、茶道を愛好し絵画、書、漆芸、金工など多数の美術工芸品を長年にわたって収集。1971年に南家の米蔵を改装して「能登集古館 南惣」を開館、収蔵品200余品を公開してきた。

輪島市町野町東大野ク100 TEL / 0768-32-0166 8:30~17:00、年中無休、大人700円 建築年 / 1891年 建築面積 / 322㎡



C 石川県輪島漆芸美術館 (MAP/P.38 A-2)

世界で唯一の漆芸専門の美術館。建物の外観は正倉院の校倉造をイメージしたデザイン。吹抜のある広々とした館内は、そこかしこに漆が用いられ、漆芸美術館ならではの落ち着いた雰囲気である。

輪島市水守町四十期11 TEL / 0768-22-9788 9:00~17:00(入館は16:30分)、年末(12/29~12/31)及び展示替期間休み、一般600円 設計 / 山岸建築設計事務所 ムラシマ事務所 建築年 / 1991年 延床面積 / 2,224.7㎡ 構造形式 / 鉄筋コンクリート造2階建(一部3階)

Break time

C 山代温泉と九谷焼 (MAP/P.42 B-4)



内藤 廣

九谷焼が再興された地、それが山代温泉。魯山人も学んだ由緒ある窯元や地元の若手工芸家の作品を展示・販売するお店まで、山代には個性ある九谷焼専門店が6軒点在し、飾り皿から箸置きなどの小物まで、手に取りながらじっくりと買物が楽しめる。

山代温泉観光協会 加賀市山代温泉北部3-70 / TEL.0761-77-1144

遺跡の覆屋という特質からアーチ状の立体トラス(3次元の空間をもった構造体)のシェル構造が採用され、構造家にとって魅力的な建物。内藤廣の意匠は構造家をわくわくさせる特異性があります。

斜面を覆うという特殊条件をシェルという現代的構造を採用しながら、既存の旧母屋と窯小屋や周囲の景観に馴染む外観意匠を着せた優しい意匠です。

建築家 平口泰夫の視点に学ぶ



内藤 廣

海の博物館での日本建築学会賞をはじめ数々の建築賞受賞歴を誇る。美しく力強い木造建築への評価が高い東京大学名誉教授。(代表作) 海の博物館(三重県 / 1992年)、島根県芸術文化センター(島根県 / 2005年)

D 九谷焼窯跡展示館 (MAP/P.42 B-4)

1826年に大聖寺の豪商吉田屋伝右衛門によって九谷村から再興九谷の登り窯が移されて以降、同一場所で作り替えや修理を繰り返しながら1940年まで受け継がれた窯跡。外観は折屋根の建物で斜面に沿って立地する特徴的な形状。内部空間は、外観からは想像もつかない架構により、ドーム形状となっており、この建物が重要な窯跡を外部から保護しているシェルターであることを視覚的に認識させる。また、外部は屋根・壁共に黒鼠色の金属板で統一されている。

加賀市山代温泉19-101-9 TEL / 0761-77-0020 9:00~17:00(入館は16:30分まで)、火曜(祝日の場合は開館)及び12/31、1/1休み、一般310円 設計 / 内藤廣 建築年 / 2002年 延床面積 / 230㎡ 構造形式 / 鉄骨造地下1階建



明治時代



旧陸軍第九師団司令部庁舎
明治期に建造された数少ない木造洋風公共建築の遺構として貴重な存在。明治期の庁舎建築の好例。MAP/P.39 C-4
金沢市石引4-18-3 TEL076-262-3236



旧北尾家門
もと豪農の屋敷の表門として建設された。明治期の農家住宅としては珍しい鼓門風の建物。MAP/P.40 C-5
金沢湯涌創作の森 TEL076-235-1116



旧中屋家行在所
明治天皇の金沢行幸に伴い行在所(御宿泊所)として建築。当時の行在所の格式や空間構成を知る上で貴重。MAP/P.40 C-5
金沢湯涌創作の森 TEL076-235-1116



尾張町町民文化館(旧金沢貯蓄銀行)
外観を伝統的な土蔵造りとし、洋風の内装を施した明治期の地方銀行の典型的な建築物。MAP/P.39 B-2
金沢市尾張町1-11-8 TEL076-222-7670



城南荘(旧横山邸)
藩政期以来の伝統に明治の感覚を加えて作事した建物。北陸の鉱山王といわれた横山家本家の遺邸。MAP/P.39 B-4
金沢市広坂1-8-19 TEL076-234-1770



金沢くらしの博物館(旧石川県立第二中学校三尖塔校舎)
入り組んだ屋根、上げ下げ窓、ランプ吊りなど、明治時代の西洋風木造学校建築を今に残した貴重な建物。MAP/P.39 C-5
金沢市飛梅町3-31 TEL076-222-5740



金沢市立玉川図書館別館(旧専売公社C-1号工場)
明治時代後期に建てられたレンガ造りの工場建築の遺構として貴重な存在。MAP/P.39 A-2



旧陸軍金澤借行社
バロック風の技巧的な装飾が特徴。明治期に建造された数少ない木造洋風公共建築の遺構として貴重な存在。MAP/P.39 C-4
金沢市石引4-18-3 TEL076-262-3236

- 尾山神社(東神門)
金沢市尾山町11-1 TEL076-231-7210 MAP/P.39 B-3
- 石川四高記念文化交流館(旧第四高等学校本館)
金沢市広坂2-2-5 TEL076-262-5464 MAP/P.39 B-4
- 石川県立歴史博物館(旧金澤陸軍第九師団兵器支廠兵器庫)
金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236 MAP/P.39 C-5



<http://www.hot-ishikawa.jp/>
MUST-SEE ARCHITECTURE



～江戸時代

- 主計町伝統的建造物群保存地区
金沢市主計町 MAP/P.39 C-2
- 成巽閣
金沢市兼六町1-2 TEL076-221-0580 MAP/P.39 C-4
- 尾崎神社
金沢市丸の内5-5 TEL076-231-0127 MAP/P.39 B-3
- 東山ひがし伝統的建造物群保存地区
金沢市東山 MAP/P.39 C-2
- 志摩
金沢市東山1-13-21 TEL076-252-5675 MAP/P.39 C-2
- 懷華楼
金沢市東山1-14-8 TEL076-253-0591 MAP/P.39 C-2
- 武家屋敷跡野村家
金沢市長町1-3-32 TEL076-221-3553 MAP/P.39 A-4
- 天徳院
金沢市小立野4-4-4 TEL076-231-4484 MAP/P.40 B-4
- 兼六園・夕顔亭
金沢市兼六町1 TEL076-234-3800 MAP/P.39 C-4
- 東香山大乗寺
金沢市長坂町ル-10 TEL076-241-2680 MAP/P.40 B-5
- 金沢城(石川門、三十間長屋、鶴丸倉庫)
金沢市丸の内1-1 TEL076-234-3800 MAP/P.39 B-3 C-3
- 寺町台伝統的建造物群保存地区
金沢市野町・弥生・寺町 MAP/P.39 A-5



金澤神社
江戸中期の流造り神社建築として貴重。境内にある「金城雲沢」は金沢の地名の由来となったもの。MAP/P.39 C-4
金沢市兼六町1-3 TEL076-261-0502



本願寺金沢別院
1546年に創建された「金沢御堂」が前身。本堂、経蔵、鐘楼が石川県指定文化財となっている。MAP/P.39 B-1
金沢市笠町2-47 TEL076-221-0429



卯辰山麓伝統的建造物群保存地区
北国街道から寺院へ向かう参道を基本とした独特な寺町の町割を含め、江戸時代の建造物が密度高く残る。MAP/P.39 C-2
金沢市鷺町・子来町・東山



中村神社拝殿
旧金沢城二の丸御殿にあった能舞台を移築したもの。桃山風建築様式で総檜造り、その豪華さも格別である。MAP/P.39 A-4
金沢市中村町16-1 TEL076-241-0668



旧高田家住宅・旧平家住宅・旧松下家住宅
江戸期に建てられた民家として、当時の農家や町家の形態をよく残している。MAP/P.40 C-5
金沢市湯涌江戸村 TEL076-235-1267



旧山川家住宅
内部の座敷回りに長押をつけない数寄屋風の造りは洗練されたものであり、茶室も優れた意匠である。MAP/P.40 C-5
旧鱒波本陣石倉家住宅
かつての北国街道の越前鱒波宿の本陣であり、明治には明治天皇も訪れた。MAP/P.40 C-5
金沢市湯涌江戸村 TEL076-235-1267

これだけ見ればもう建築ソウワ?
石川名建築のマスト 金沢編 ②



昭和後期(※戦後)～現在



金沢市立泉野図書館(岡田新一) ※館内の撮影は許可が必要です。
歴史と文化のまち金沢にふさわしい勾配屋根とレンガタイルの外観は落ち着いた雰囲気を醸し出している。MAP/P.39 B-4
金沢市泉野町4-22-22 TEL076-280-2345



近江町いちば館
金沢市民の台所である近江町市場を再生。市場の歴史と現代的に蘇った近代建築が調和する。MAP/P.39 B-2
金沢市青草町88 TEL076-231-3323



北國新聞赤羽ホール(浅石優、千野保幸(日本設計))
設計は浅石優氏。金沢中心部のビジネス街で音楽や演劇、映画などに触れられる施設。MAP/P.39 A-3
金沢市南町2-1 TEL076-260-3555

■石川県金沢港大野からくり記念館(内井昭蔵)
金沢市大野町4-甲2-29 TEL076-266-1311 MAP/P.40 A-3

■鼓門・もてなしドーム(金沢駅)
金沢市木ノ新保町1-1 TEL076-221-5952 MAP/P.39 A-1

■鈴木大拙館(谷口吉生)
金沢市本多町3-4-20 TEL076-221-8011 MAP/P.39 C-5

■金沢海みらい図書館(堀場弘+工藤和美)
金沢市寺中町1-1 TEL076-266-2011 MAP/P.40 A-3

■兼六園・時雨亭
金沢市兼六町1 TEL076-232-8841 MAP/P.39 C-4

■月心寺
金沢市山の上町1-43 TEL076-251-0492 MAP/P.39 C-1

■大樋美術館
金沢市橋場町2-17 TEL076-221-2397 MAP/P.39 C-2

■寺島蔵人邸
金沢市大手町10-3 TEL076-224-2789 MAP/P.39 C-3

■徳田秋聲記念館
金沢市東山1-19-1 TEL076-251-4300 MAP/P.39 C-2

■泉鏡花記念館
金沢市新町2-3 TEL076-222-1025 MAP/P.39 C-2

■金沢文芸館
金沢市尾張町1-7-10 TEL076-263-2444 MAP/P.39 C-2

■金沢能楽美術館
金沢市広坂1-2-25 TEL076-220-2790 MAP/P.39 B-4



金沢歌劇座
シンプルではあるが、日本のモダニズム建築の特徴を十分備えた建築物。MAP/P.39 B-4
金沢市本多町6番丁-27 TEL076-220-2501



いしかわ総合スポーツセンター(池原義郎)
池原義郎氏設計の北陸地方最大となる総合スポーツセンター。数多くの建築賞も受賞している。MAP/P.40 A-4
金沢市稚日野町北222 TEL076-268-2222



石川県銭屋五兵衛記念館
「海の百万石」と謳われた豪商銭屋五兵衛の資料館。モチーフの蔵を連続させ、当時の町並みを彷彿させる。MAP/P.40 A-3
金沢市金石本町口55 TEL076-267-7744



金沢市民芸術村(水野一郎)
工場施設の再生を行ったもので、まちなか活性化という点や歴史的建築物の再生としても評価が高い。MAP/P.40 B-4
金沢市大和町1-1 TEL076-265-8300



金沢市立安江金箔工芸館
建物全体は蔵をモチーフとし、建物内外に金箔をちりばめ、金箔工芸のイメージを強調している。MAP/P.39 C-2
金沢市東山1-3-10 TEL076-251-8950

■石川県立美術館
金沢市出羽町2-1 TEL076-231-7580 MAP/P.39 C-4

■金沢市立玉川図書館(谷口吉郎・吉生)
金沢市玉川町2-20 TEL076-221-1960 MAP/P.39 A-3

■石川県立伝統産業工芸館(谷口吉郎)
金沢市兼六町1-1 TEL076-262-2020 MAP/P.39 C-4

■本多の森ホール(黒川紀章)
金沢市石引4-17-1 TEL076-222-0011 MAP/P.39 C-5

■石川県政記念しいのき迎賓館(矢橋賢吉)
金沢市広坂2-1-1 TEL076-261-1111 MAP/P.39 B-4

■室生犀星記念館
金沢市千日町3-22 TEL076-245-1108 MAP/P.39 A-4

■石川県立音楽堂(芦原義信)
金沢市昭和町20-1 TEL076-232-8111 MAP/P.39 A-1

■金沢21世紀美術館(SANAA)
金沢市広坂1-2-1 TEL076-220-2800 MAP/P.39 B-4

■金沢城(菱櫓、五十間長屋、橋爪門続櫓、河北門)
金沢市丸の内1-1 TEL076-234-3800 MAP/P.39 B-3

大正時代～昭和前期(※戦前)



ピストロ金沢とどろき亭(旧加州銀行)
もともと銀行として建築されたが、現在は洋食店として使用されている。MAP/P.39 C-2
金沢市東山1-2-1 TEL076-252-5755



旧園家住宅主屋及び茶室松向庵
道路に面して長屋門を思わせる門と塀が端正な趣を醸し出す近代和風住宅の秀作。MAP/P.39 B-3
金沢市西町三番丁17-7 TEL076-220-2190(金沢文化振興財団)



ギャラリー三田(旧三田商店)
内部外部が一体となって楽しめる好建築であり、金沢市内にある昭和初期の建物として貴重。MAP/P.39 C-2
金沢市尾張町1-8-5 076-222-0056



浅野川大橋
1922年の建設。3径間連続固定アーチという独特の構造のアーチ橋で国の有形登録文化財。MAP/P.39 C-2
金沢市橋場町・主計町～東山



犀川大橋
1924年の建設。鋼製曲弦ワーレントラス橋で国の有形登録文化財。MAP/P.39 A-5
金沢市片町～野町・千日町



石川県立美術館広坂別館(旧陸軍第九師団長官舎)
大正時代に陸軍第九師団の師団長官舎として建てられた建物。玄関まわりなどは建築当時の面影を残す。MAP/P.39 C-4
金沢市出羽町1-1 TEL076-221-8810



旧宮下家住宅
アズマダチ建築で、山村農家の外観を留める。土間に掘り込まれたウマヤには人馬同居の山村生活を偲ぶ。MAP/P.40 C-5
金沢湯涌創作の森 TEL076-235-1116



旧市谷家住宅
炭焼きを生業とした農家住宅。オエと呼ぶ囲炉裏の板の間は、漆仕上げの総ケヤキ造りとなっている。MAP/P.40 C-5
金沢湯涌創作の森 TEL076-235-1116



浅野川大橋詰火の見櫓
金沢市内に現存する、市内最古で国の有形登録文化財となっている数少ない火の見櫓。MAP/P.39 C-2
金沢市東山3-1-2先

■金沢文芸館(旧高岡銀行橋場支店)
金沢市尾張町1-7-10 TEL076-263-2444 MAP/P.39 C-2

■北國銀行武蔵ヶ辻支店(旧加能合同銀行本店)
金沢市青草町88 TEL076-262-2161 MAP/P.39 B-2

■旧中村家住宅主屋
金沢市本多町3-2-30 TEL076-221-0751 MAP/P.39 C-4



<http://www.hot-ishikawa.jp/>
MUST-SEE ARCHITECTURE

昭和後期(※戦後)～現在



コスモイル羽咋(仙田満+環境デザイン研究所)
空飛ぶ円盤をモチーフとする特異な外観と折り紙で折ったような円形ホールの天井が面白い。MAP/P.38 A-5
羽咋市鶴多町免田25 TEL0767-22-9888

- 石川県七尾美術館(内井昭蔵)
七尾市小丸山台1-1 TEL0767-53-1500 MAP/P.38 B-4
- 石川県能登島ガラス美術館(毛綱毅曠)
七尾市能登島向田町125-10 TEL0767-84-1175 MAP/P.38 B-3
- ビュー・サンセット(毛綱毅曠)
輪島市門前町千代29-58 TEL0768-42-2050 MAP/P.38 A-2
- 珠洲市多目的ホール ラポルトすず(長谷川逸子)
珠洲市飯田町1-1-8 TEL0768-82-8200 MAP/P.38 C-1
- 輪島屋善仁 塗師の家
輪島市河井町1-82-3 TEL0768-22-5811 MAP/P.38 A-2
- 西田幾多郎哲学館(安藤忠雄)
かほく市内日角井1 TEL076-283-6600 MAP/P.40 C-1
- 海と渚の博物館(内井昭蔵)
かほく市白尾ム1-3 TEL076-283-8880 MAP/P.40 B-1
- 石川県輪島漆芸美術館
輪島市水守町四十苅11 TEL0768-22-9788 MAP/P.38 A-2

大正時代～昭和前期(※戦前)



西田幾多郎書斎斎清窟
建物の細部に至るまで忠実に再現された西田幾多郎の書斎。家具や書籍なども実際に西田幾多郎が使っていた当時のまま残されている。MAP/P.40 C-1
かほく市内日角井1 TEL076-283-6600



歩らり(旧上野啓文堂)
建築当時の商品である万年筆をモチーフとしたユニークな外観をもつ看板建築。MAP/P.38 B-4
七尾市一本杉町32-1 TEL0767-52-3630



春成酒店
「せがい構造」の七尾町家では最大の規模であり、酒造屋敷としての特色を併せ持った唯一現存する建造物。MAP/P.38 B-4
七尾市今町15 TEL0767-52-z0120



これだけ見ればもう建築ソウ？
石川名建築のマスター能登編



<http://www.hot-ishikawa.jp/>
MUST-SEE ARCHITECTURE

- 豊財院
羽咋市白瀬町ル8 TEL0767-26-1056 MAP/P.38 A-5
- 阿岸本誓寺
輪島市門前町南カ26乙 TEL0768-45-1355 MAP/P.38 A-3
- 本行寺
七尾市小島町134 TEL0767-53-0799 MAP/P.38 B-4
- 黒島地区伝統的建造物群保存地区
輪島市門前町黒島町 TEL0768-43-1135(角海家) MAP/P.38 A-2

明治時代

- 高澤ろうそく店
黒く重厚な情緒ある外観の土蔵造りは、七尾における伝統的な老舗商家の典型と高く評価される。MAP/P.38 B-4
七尾市一本杉町11 TEL0767-53-0406
- 鳥居醤油店
木造二階建、土蔵造の建物。昔ながらの商い風景や落ち着いた内部の雰囲気を感じている。MAP/P.38 B-4
七尾市一本杉町29 TEL0767-52-0368
- 北島屋茶店
当時の庶民の町家形式と住まい方、商業生活文化などがうかがえる建築物。MAP/P.38 B-4
七尾市一本杉町54 TEL0767-53-0003

- 南惣美術館
輪島市町野町東大野ク100 TEL0768-32-0166 MAP/P.38 B-1
- 角海家住宅
輪島市門前町黒島町口 94-2 TEL0768-43-1135 MAP/P.38 A-2
- 大本山總持寺祖院
輪島市門前町門前1-18-1 TEL0768-42-0005 MAP/P.38 A-2

～江戸時代

- 懐古館
七尾城史資料館に隣接し、500坪の庭園が杉木立の深い緑に囲まれる「九六間住宅」。MAP/P.38 B-4
七尾市古屋敷町タ8-6 TEL0767-53-6674
- 松尾神社拝殿
中世後期に遡る拝殿は、石川県下には例が無く、しかも本殿と対になって保存されている貴重な遺構である。MAP/P.38 A-3
羽咋郡志賀町町居カ部4 TEL0767-47-1258
- 岡部家住宅
能登大型農家の間取りや構造をよく保つ建造物。13代加賀藩主前田資泰が能登を巡検したおり本陣に使用。MAP/P.38 A-5
羽咋郡宝達志水町荻谷二42 TEL0767-29-3497
- 石動山旧観坊
藩政末期まで残っていた石動山天平寺の坊舎58坊のうち、現存する唯一の建造物。MAP/P.38 B-4
鹿島郡中能登町石動山ヤ部3 TEL0767-76-0654
- 喜多家住宅
藩主巡検のおり本陣に使用された十村役の住居で、私用の部分と公用部分が一つの建物の中に混在する。MAP/P.38 A-5
羽咋郡宝達志水町北川尻ラ1-1 TEL0767-28-3199

- 気多大社
羽咋市寺家町ク1-1 TEL0767-22-0602 MAP/P.38 A-4
- 妙成寺
羽咋市滝谷町ヨ1 TEL0767-27-1226 MAP/P.38 A-4
- 上時国家
輪島市町野町南時国13-4 TEL0768-32-0171 MAP/P.38 B-1
- 時國家
輪島市町野町西時国2字1-1 TEL0768-32-0075 MAP/P.38 B-1
- 洞谷山 永光寺
羽咋市酒井町イ部11 TEL0767-26-0156 MAP/P.38 A-5

昭和後期(※戦後)～現在



野々市市役所庁舎(香山壽夫)
市民に開かれた行政空間として、開放的な空間作りが表
現された新しい自治体庁舎。MAP/P.41 D-1
野々市市三納1-1 TEL076-227-6000



山代温泉総湯(内藤廣)
かつて「湯の曲輪」に面していた旅館の外観を踏襲し街並み
と調和のとれたデザインとなっている。MAP/P.42 B-4
加賀市山代温泉18-128 TEL0761-76-0144



小松市立宮本三郎美術館 小松市立宮本三郎美術館提供
1886年に建てられた織物集荷倉庫を保存再生。現代的な棟と過
去を象徴する石張倉庫の調和と対峙が見所。MAP/P.42 C-2
小松市小馬出町5 TEL0761-20-3600



パーク獅子吼ふれあい館/獅子ワールド館(水野一郎)
傾斜地を巧みに活用した躍動的でダイナミックな印象の
建物。MAP/P.41 D-2
白山市八幡町リ110 TEL076-273-8449

■石川県農林総合研究センター林業試験場(瀧光夫)
白山市三宮町ホ1 TEL076-272-0673 MAP/P.41 D-2

■中谷宇吉郎 雪の科学館(磯崎新)
加賀市潮津町イ106 TEL0761-75-3323 MAP/P.42 B-3

■石川県こまつ芸術劇場うらら(川崎清)
小松市土居原町710 TEL0761-20-5500 MAP/P.42 C-2

■能美市立九谷焼美術館(浅蔵五十吉美術館)(池原義郎)
能美市泉台町南1 TEL0761-58-6789 MAP/P.42 C-2

■片山津温泉街湯(谷口吉生)
加賀市片山津温泉乙65-2 TEL0761-74-0550 MAP/P.42 B-3

■小松市立本陣記念美術館(黒川紀章)
小松市丸の内公園町19 TEL0761-22-3384 MAP/P.42 C-2

■九谷焼窯跡展示館(内藤廣)
加賀市山代温泉19-101-9 TEL0761-77-0020 MAP/P.42 B-4

■石川県九谷焼美術館(象設計集団)
加賀市大聖寺地方町1-10-13 TEL0761-72-7466 MAP/P.42 A-4

■石川県ふれあい昆虫館(瀧光夫)
白山市八幡町茂3 TEL076-272-3417 MAP/P.41 D-2

大正時代～昭和前期(※戦前)



多川家住宅
一千石の肝煎役を務めた豪農の屋敷。土蔵は美術品な
どの資料館となっている。MAP/P.42 C-1
白山市四ツ屋町38 TEL076-277-1718



彫金工房「月」・カフェサロン「銀」(旧牧野歯科医院)
洋館部分の大きな腰折れ屋根が大きな特徴。昭和初期の個人医院によく見
られる和洋併立型の医院兼住宅として建てられた。MAP/P.42 A-4
加賀市大聖寺本町10-1 TEL0761-73-0019



山中片岡鶴太郎工芸館(旧山岡岡山山本社)
漆器商社の店舗として建てられた。山中温泉で初期の鉄
筋コンクリート造の建物として貴重。MAP/P.42 B-5
加賀市山中温泉湯の出町レ26-3 TEL0761-78-1225



小松市立空とこども絵本館(旧小松警察署庁舎)
旧小松警察署の外壁と塔屋状の階段室を活用して再
生。各所に特徴的な装飾が見られる。MAP/P.42 B-2
小松市小馬出町10-3 TEL0761-23-0033



小松市絵本館ホール十九番館(旧石川商銀信用組合小松支店)
銀行として建てられたものを活用。改修を最小限にとどめ
ており、当時の意匠を楽しむことができる。MAP/P.42 B-2
小松市京町19-5 TEL0761-23-6622

石川名建築のマスター加賀・白山編

これだけ見ればもう建築ソウワ?



明治時代



旧織田家住宅
南加賀型の農家を商店に改造しており、表と裏で間取り
を二分する。MAP/P.41 D-5
石川県立白山ろく民俗資料館 TEL076-259-2665



北前船の里資料館
巨額な財力を誇っていた橋立を代表する北前船主の邸
宅。改造がほとんどなく、保存状態も良好。MAP/P.42 A-3
加賀市橋立町イ乙1-1 TEL0761-75-1250



北前船主屋敷蔵六園
幕末期に大聖寺藩主が命名した庭園。漆塗りの邸宅。財力を誇っ
た往時の姿がほぼ完全な形で保存されている。MAP/P.42 A-3
加賀市橋立町ラ47 TEL0761-75-2003



白山市松任ふるさと館(旧吉田家住宅)
農家建築の近代における変遷を示す一例。多様な庭石
や灯籠が並ぶ庭園も見所。MAP/P.41 D-1
白山市殿町56番地 TEL076-276-5614



深田久弥 山の文化館(旧山長織物会社)
明治時代に建てられた絹織物工場「山長」の事務所・石
蔵の建物を再生・活用した施設。MAP/P.42 A-4
加賀市大聖寺番場町18-2 TEL0761-72-3313



聖興寺
加賀の千代女ゆかりの寺。本堂は1898年に東本願寺の再建を指
揮した木子棟齊が棟梁となり建築された。MAP/P.41 D-1
白山市中町56-1 TEL076-275-0161

■無限庵 無限庵御殿
加賀市山中温泉下谷町口6 TEL0761-78-0160 MAP/P.42 B-5

■魯山人寓居いろは草庵
加賀市山代温泉18-5 TEL0761-77-7111 MAP/P.42 B-4

～江戸時代



旧小倉家住宅
加賀地方南半にみられる民家の代表的な構造で、梁は雪圧に強い
根曲り材を有効に利用するなどの特徴を備える。MAP/P.41 D-5
石川県立白山ろく民俗資料館 TEL076-259-2665



旧杉原家住宅
屋根葺き替えや雪下ろし用の大梯子や、外壁の土蔵造りとともに、
白山ろくの農家の特徴を顕著に示す。MAP/P.41 D-5
石川県立白山ろく民俗資料館0 TEL076-259-2665



小松天満宮
山上善右衛門の作品。京都北野天満宮の社殿を模し、規模を
1/4に縮小して造営したと伝えられる。MAP/P.42 B-2
小松市天神町1 TEL0761-22-2539

■江沼神社長流亭
加賀市大聖寺八間道55 TEL0761-72-0551 MAP/P.42 A-4

■加賀東谷伝統的建造物群保存地区
加賀市山中温泉荒谷町・今立町・大土町・杉水町 MAP/P.42 B-5

■那谷寺
小松市那谷町ユ122 TEL0761-65-2111 MAP/P.42 B-4

■加賀橋立伝統的建造物群保存地区
加賀市橋立町 TEL0761-75-1250(北前船の里資料館) MAP/P.42 A-3

■白山市白峰伝統的建造物群保存地区
TEL076-259-2665(石川県立白山ろく民俗資料館) MAP/P.41 D-5

■石川県立白山ろく民俗資料館
白山市白峰30 TEL076-259-2665 MAP/P.41 D-5

■喜多家住宅
野々市市本町3-8-10 TEL076-248-1131 MAP/P.41 D-1

■白山比咩神社
白山市三宮町ニ105-1 TEL076-272-0680 MAP/P.41D-2





石川アーキテクチャーツーリズム
[建築マップ]
 Noto Kanazawa Gaga



- JR 利用**
- 関東から 【上越新幹線】 ほくほく線経由・越後湯沢乗換
東京～金沢 3時間51分 (計13往復)
(1往復は和倉温泉へ直通)
上記のほか長岡乗換 (計5往復)
 - 関西から 【東海道新幹線】 米原経由 東京～金沢 4時間17分 (計15往復)
 - 中京から 【大阪～金沢】 2時間31分 (計23往復) (4往復は和倉温泉へ直通)
 - 中京から 【名古屋～金沢】 2時間28分 (計16往復) (1往復は和倉温泉へ直通)
- 航空機 利用**
- 【小松空港】
- 札幌から 1時間30分 1便
 - 仙台から 1時間 1便
 - 東京 (羽田) から 1時間 11便
 - 成田から 1時間10分 2便
 - 福岡から 1時間15分 2便
 - 那覇から 2時間10分 1便
- 【能登空港】
- ソウル (仁川) から 1時間40分 週4便
 - 上海 (浦東) から 1時間30分 週4便
 - 台北から 3時間 1便
 - 東京 (羽田) から 1時間 2便
- 高速バス 利用**
- 東京・横浜・八王子・さいたまから 計11往復
 - 新潟から 2往復
 - 名古屋から 11往復
 - 大阪から 5往復
 - 京都から 7往復
 - 仙台から 1往復
 - 鎌倉・藤沢から 1往復
 - 高山から 3往復
 - 富山から 平日16往復 / 土日祝20往復
 - 前橋から 1往復

石川県へのアクセス

金沢 近郊

Kanazawa
「建築マップ」
石川アーキテクチャリズム



西田幾多郎 書斎骨清窟
海と渚の博物館 (P.13)
西田幾多郎 哲学館 (P.13)

かほく市
津幡町

内灘町

金沢市

金沢市街地 P.39

天徳院 (P.10)

東香山 大乗寺 (P.22)

金沢湯涌創作の森
旧宮下家住宅
旧市谷家住宅
旧北尾家門
旧中屋家行在所

金沢湯涌江戸村
旧高田家住宅
旧平家住宅
旧松下家住宅
旧山川家住宅
旧鯖波本陣石倉家住宅

湯涌温泉 (P.11)

金沢 市街地

Kanazawa
「建築マップ」
石川アーキテクチャリズム

金沢駅
鼓門・もてなしドーム (金沢駅) (P.5)
石川県立音楽堂 (P.26)

重要伝統的建造物群保存地区
卯辰山麓伝統的建造物群保存地区
重要伝統的建造物群保存地区
東山ひがし伝統的建造物群保存地区 (ひがし茶屋街) (P.25)
重要伝統的建造物群保存地区
主計町伝統的建造物群保存地区 (主計町) (P.25)

北国銀行 武蔵ヶ辻支店 (P.11)
近江町いちば館
近江町市場
尾張町町民文化館

金沢市立玉川図書館別館
金沢市立玉川図書館 (P.12)

尾山神社 (P.9)

尾山神社 (P.9)

石川四高記念文化交流館 (P.11)
石川県政記念 しいのき迎賓館 (P.11)

金沢能楽美術館 (P.26)
金沢21世紀美術館 (P.7)

石川県立美術館 (P.7)
ルミゼドゥアッシュ KANAZAWA (P.7)

石川県立歴史博物館 (P.11)

重要伝統的建造物群保存地区
寺町台伝統的建造物群保存地区

加賀・白山

石川アーキテクチャトリズム
「建築マップ」



小松天満宮
小松本陣記念美術館 (P.17)
小松市立宮本三郎美術館
こまつ芸術劇場うらら (P.17)

中谷宇吉郎 雪の科学館 (P.18)
片山津温泉街湯 (P.18)
重要伝統的建造物群保存地区
加賀橋立伝統的建造物群
保存地区 (加賀橋立地区) (P.18)

北前船の里資料館
北前船主屋敷蔵六園
深田久弥 山の文化館
彫金工房「月」・カフェサロン「銀」

江沼神社 長流亭 (P.24)
九谷焼美術館 (P.27)

山代温泉 (P.27)
山代温泉総湯
魯山人寓居跡
いろは草庵 (P.24)

片岡鶴太郎工芸館
山中温泉 (P.23)
無限庵 (P.23)

重要伝統的建造物群保存地区
加賀東谷伝統的建造物群
保存地区 (加賀東谷地区)
(P.18)

白山ろく
民俗資料館 (P.20)
旧織田家住宅
旧小倉家住宅
旧杉原家住宅

重要伝統的建造物群保存地区
白峰伝統的建造物群保存地区 (白峰地区) (P.20)
雪だるまカフェ (P.20)